広報のぼりべつ別冊

平成 15 年度市の仕事

まちづくりカタログ

まちづくりカタログをお届けします

市は、昨年から市民のみなさんが市政のあらゆる分野に参画する上でもっとも基本となる市政情報のひとつとして、『まちづくりカタログ』を発行しています。

このまちづくりカタログは、平成15年度の予算の内容と事業のあらましを『登別市総合計画』の柱立てに沿って紹介するものです。

まちづくりは、自分の住むまちを、市民のみなさんが「こうしていきたい」と自ら考え、判断・決定し、責任をもって行うことです。

今年度、市がどのような事業に取り組むのか、あるいは、市が提供している行政サービスについてどのくらいの財源が付与されているのかなど、市民のみなさんが市の施策を検討する上で、また、登別のまちづくりを考えていく上で参考にしていただければ幸いです。

CONTENTS

第1章 やさしさと共生するまち

～福祉・高齢者・保健・障害のある方・子育て支援・男女共同参画～

共に支え合う福祉の基盤づくり …… 4
高齢者や障害のある方のために …… 6
高齢社会を支えるために …… 10
介護保険サービス …… 11
健康で暮らすために …… 13
母と子の健康のために …… 17
子どもたちの健康のために …… 17
地域医療体制の整備 …… 18
障害のある方のために(助成金・給付関係)… 18
障害のある方のために(補助金) …… 20
障害のある方のために(施設関連) …… 21
自立した暮らしへの支援 …… 21
地域で担う子育て支援 …… 21
男女共同参画社会づくり …… 24

第2章 自然とともに暮らすまち

～環境保全・自然とのふれあい・ごみとリサイクル・下水道・火葬場・霊園・防災・消防・救急・防犯・交通安全・消費生活～

資源循環型社会の構築に向けて …… 26
人と自然のふれあい拠点の形成 …… 26
生活環境の保全 …… 29
美しい自然を守り、
　住みよい環境をつくるために …… 31
下水道事業の推進 …… 32
火葬場・霊園の整備 …… 34
災害に強いまちづくり …… 34
消防・救急体制の整備 …… 35
犯罪のないまちを目指して …… 36
交通安全対策 …… 36
安全な消費生活 …… 37

第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち

～産業振興・観光・農業・林業・水産業・経済活性化～

産業を担う人づくり …… 38
企業誘致の促進 …… 40
世界が集い、
　世界が楽しむ北の観光拠点をつくる …… 40
海と大地の恵みを力に変える …… 42
まちの経済活性化のために …… 45

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

～交通・情報・都市景観・市街地整備・公営住宅・上水道・公園～

機能的な交通・情報ネットワークで
　活力とふれあいを運ぶ …… 46
交通輸送体系の整備 …… 49
情報・通信体制の整備 …… 49
情報化の推進 …… 51
美しい都市景観の創造 …… 52
住みよい市街地の整備と宅地・住宅の確保 …… 53
水道事業などの推進 …… 54
公園の整備 …… 55

第5章 豊かな個性と人間性をはぐくむまち

～生涯学習・幼児教育・小中学校教育・特殊教育・高等教育・学習機会・文化活動・スポーツ・図書館～

生涯学習社会の実現を目指して …… 56
幼児教育の充実 …… 57
小・中学校教育の充実 …… 58
学習環境の整備充実 …… 61
学校給食事業 …… 62
高校教育の充実 …… 62
生涯学習の推進 …… 62
生涯学習諸条件の整備 …… 64
個性豊かなふるさとの文化をつくる …… 64
生涯スポーツと競技スポーツの振興 …… 69
スポーツ施設の整備充実 …… 69
生涯学習を支える図書館機能を高める …… 71

第6章 担いあうまちづくり

～市民参画・地域活動・地域交流・国際交流～

多彩な地域活動を支援 …… 72
交流ネットワークの形成 …… 73

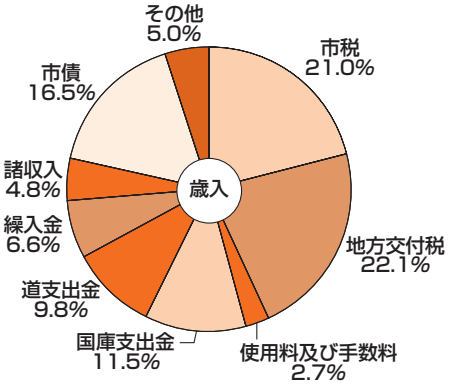
平成15年度

まちの予算

一般会計歳入

一般会計歳入　（単位：万円）

費目	平成15年度 当初予算額	構成比	平成14年度 当初予算額
市税	506,278	21.0%	517,437
地方交付税	534,000	22.1%	556,500
使用料及び手数料	65,204	2.7%	67,773
国庫支出金	276,914	11.5%	263,547
道支出金	235,835	9.8%	244,445
繰入金	159,016	6.6%	141,440
諸収入	114,973	4.8%	104,494
市債	399,700	16.5%	199,420
その他	120,080	5.0%	139,944
合計	2,412,000	100.0%	2,235,000

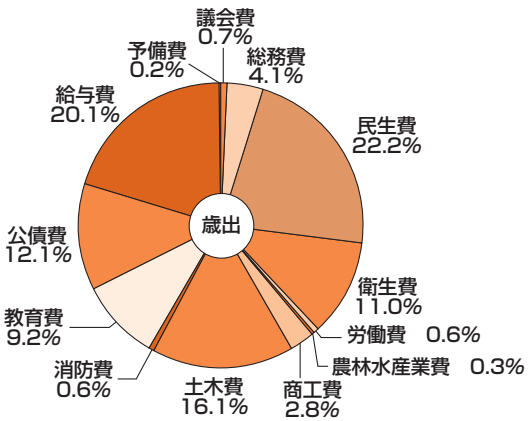


◎**市税**…市民税や固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税があり、市の収入の５分の１を占めています。
◎**地方交付税**…市が行わなければならない行政サービスを実施するため、財政状況に応じて国から配分されるお金
◎**使用料及び手数料**…ごみ処理手数料や建築確認手数料、戸籍手数料など、利用した方が納める受益者負担金
◎**国庫（道）支出金**…交付金や補助金、委託金があり、市が事業や事務を行うために国や道から交付されるお金
◎**繰入金**…基金（家庭でいうと貯金）を取り崩して使用するお金
◎**諸収入**…貯金の利子や貸付金の回収元金、利子、福祉施設に入所している方に負担金として納めていただくお金など
◎**市債**…施設や道路などを整備する際、通常の財源だけでまかなうのが困難なため、借り入れするお金
◎**その他**…自動車重量税や消費税などの税金の一部が国から交付されるお金など

一般会計歳出

一般会計歳出　（単位：万円）

費目	平成15年度 当初予算額	構成比	平成14年度 当初予算額
議会費	17,507	0.7%	17,668
総務費	100,034	4.1%	112,027
民生費	535,360	22.2%	513,590
衛生費	266,496	11.0%	168,903
労働費	14,284	0.6%	21,167
農林水産業費	8,274	0.3%	9,620
商工費	66,605	2.8%	64,422
土木費	388,119	16.1%	437,157
消防費	13,497	0.6%	19,111
教育費	220,766	9.2%	98,513
公債費	290,786	12.1%	273,634
給与費	485,272	20.1%	494,188
予備費	5,000	0.2%	5,000
合計	2,412,000	100.0%	2,235,000



◎**議会費**…市議会に関することに使うお金
◎**総務費**…国際交流や各地域との交流、広報広聴活動などに使うお金
◎**民生費**…福祉に関することに使うお金
◎**衛生費**…健康や予防に関することに使うお金
◎**労働費**…労働に関することに使うお金
◎**農林水産業費**…農業や水産業に関することに使うお金
◎**商工費**…商工業に関することに使うお金
◎**土木費**…都市基盤整備に関することに使うお金
◎**消防費**…火災や救急業務に関することに使うお金
◎**教育費**…教育に関することに使うお金
◎**公債費**…長期借入金の返済に使うお金
◎**給与費**…職員の給与に使うお金
◎**予備費**…予備のお金

特別会計・事業会計

平成15年度各会計予算総括表（単位：万円）

会計区分		平成15年度 当初予算額	構成比	平成14年度 当初予算額
一般会計		2,412,000	54.9%	2,235,000
特別会計		1,818,100	41.3%	1,775,800
	国民健康保険	532,420	12.1%	491,480
	学校給食事業	35,680	0.8%	37,720
	公共下水道事業	374,620	8.5%	352,980
	老人保健	624,000	14.2%	653,860
	簡易水道事業	4,950	0.1%	3,260
	介護保険	246,430	5.6%	236,500
水道事業会計		165,513	3.8%	173,879
	収益的支出	94,240	2.2%	94,747
	資本的支出	71,273	1.6%	79,132
総合計		4,395,613	100.0%	4,184,679

• 国民健康保険特別会計
国民健康保険加入者の医療費の一部助成や各種検診の助成、健康づくりなどの事業を行います。

• 学校給食事業特別会計
市内の小・中学校や保育所に給食を調理・配送し、子どもたちの栄養を満たすことができるおいしい給食を提供します。

• 公共下水道事業特別会計
都市基盤整備の一環である公共下水道を整備します。本年度は、鷲別町と大和町方面の下水道を整備します。この整備で、登別市の下水道普及率は78パーセント、整備面積は898ヘクタールになります。
また、登別地区の汚水を中継するための幌別ポンプ場は、平成16年度までの2カ年で建設を行い、平成17年度の供用開始を予定しています。

• 老人保健特別会計
高齢者の医療費軽減を図るため、医療費の一部助成などを行います。

• 簡易水道特別会計
札内地区などの飲料・営農用水施設の整備を行います。

• 介護保険特別会計
介護が必要な高齢者などを対象に、在宅や施設での介護サービスを行います。

• 水道事業会計
安全で良質な水の供給や新配水池の建設、配水管の整備などを行います。

予算のポイント

登別市の平成15年度の当初予算総額は、全会計で439億5千613万2千円となりました。
内訳としては、一般会計が241億2千万円、6特別会計の合計が181億8千100万円、企業会計が16億5千513万2千円となっています。
本年度予算は、厳しい財政環境の中、市税や地方交付税などについて、的確な見積りを行うとともに、事務事業や補助金の見直しを実施し、一般事務費や旅費、特別職の期末手当や管理職手当の削減を行い、投資的経費については、優先度や効果などを総合的に勘案して選択するなど、経費全般について徹底した節減合理化に努めました。
一般会計の主な歳入では、市税が当初予算としては6年連続で減少し50億6千277万円、地方交付税については53億4千万円、市債は、火葬場建替事業充当債や墓地造成事業充当債、新市民プール建設事業充当債など39億9千700万円を見込んでいるほか、財源不足を補うため、財政調整基金積立金と減債基金積立金から5億8千万円を取り崩すなどして、厳しい財政状況に対応します。
一般会計の主な歳出では、必ず支出しなければならない義務的経費について、人件費は6千万円減少したものの、扶助費が2億円、公債費が1億7千万円以上増加したため109億7千82万円となり、都市基盤整備など公共事業のために支出する『投資的経費』は、新市民プールや新火葬場などの大型単独事業が本格化することから、16億9千591万円増え、57億1千558万円となりました。

第1章

やさしさと共生するまち

福祉・高齢者・保健・
障害のある方・子育て
支援・男女共同参画

- 共に支え合う福祉の基盤づくり
- 高齢者や障害のある方のために
- 高齢社会を支えるために（介護保険全般）
- 介護保険サービス
- 健康で暮らすために
- 母と子の健康のために
- 子どもたちの健康のために
- 地域医療体制の整備
- 障害のある方のために（助成金・給付関係）
- 障害のある方のために（補助金）
- 障害のある方のために（施設関連）
- 自立した暮らしへの支援
- 地域で担う子育て支援
- 男女共同参画社会づくり

共に支え合う福祉の基盤づくり

総合福祉センターの運営管理　2千773万2千円

片倉町6丁目9－1（☎㊽0100）。平成14年度の利用実績は、4万1千568人。

鉄南ふれあいセンターの運営管理　1千46万7千円

幌別町3丁目7－1（☎㊽2966）。平成14年度の利用実績は、1千831件・2万2千302人。

若草つどいセンター・富浦会館などの運営管理　287万8千円

・**若草つどいセンター**…若草町4丁目21－1（☎㊻1205）。平成14年度の利用実績は、2千805件・3万5千822人。

・**富浦会館**…富浦町1丁目46－4（☎㉝2481）。平成14年度の利用実績は、92件・1千953人。

・**富士会館**…富士町7丁目2－1（☎㊽0722）。平成14年の利用実績は、531件・1万6千559人。

老人医療費の給付　62億3千273万7千円（うち国14億5千896万7千円、うち道3億6千474万1千円）

昭和7年9月30日以前に生まれた方や、65歳以上で重度の障害のある高齢者の、本人負担1割分を除いた医療費などを給付します。

老人医療費の助成　9千443万9千円（うち道3千932万1千円）

高齢者の医療費軽減を図るため、道と市では医療費の一部を助成しています。

・**道の助成対象**…65歳以上70歳未満で一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯、高齢者と児童だけの世帯の方。
・**市の助成対象**…69歳以上70歳未満の方。

国民年金経費　67万7千円（うち国67万7千円）

国民年金は、日本国内に住所のある20歳以上60歳未満のすべての方が加入し、老後や思わぬけが、病気で障害をもったとき、年金を受給して生活の安定を図ろうとする相互扶助制度です。

【社会福祉協議会の活動を支援】

地域福祉活動促進事業への補助　893万1千円

登別市社会福祉協議会が実施する『ふれあいのまちづくり事業』『ふれあい広場』などの事業費の一部や、『登別市ボランティアセンター』の運営費の一部を助成します。

・**ふれあいのまちづくり事業**…市民が介護やボランティア活動、法律、年金、保健などの生活・福祉問題について気軽に相談できる総合相談体制づくりに取り組む『ふくしなんでも相談』の実施や、一人暮らしの高齢者などを地域で支える『福祉ネットワーク』を強化するほか、ファミリーサポートセンターや日帰り介護サービス（高齢者）、介護講習会、ボランティア体験月間などを実施し、福祉の総合的な推進を図ります。
・**ふれあい広場**…しんた21などを会場にボランティア団体による手話や点字体験、車いすなどの試乗などが行われ、ボランティア活動の紹介やノーマライゼーション理念の普及が図られています。

▲放課後児童クラブでのボランティア体験（ボランティア体験月間）

▲ふれあい広場での点字体験

・**登別市ボランティアセンター**…片倉町6丁目9－1しんた21内（☎㊽2080）。ボランティアをしたい人や受けたい人の登録・調整・紹介などを行うほか、ボランティア活動に関する講演会を開催し、ボランティアを推進する機関です。

現在、ボランティアセンターには、個人ボランティア283人、ボランティアグループ37団体・1千857人が登録し（平成15年5月1日現在）、幅広いボランティア活動を行っています。

▼問い合わせ
社会福祉課（☎㉟1911）
登別市社会福祉協議会（しんた21内☎㊽0860）

【民生委員児童委員の活動を支援】

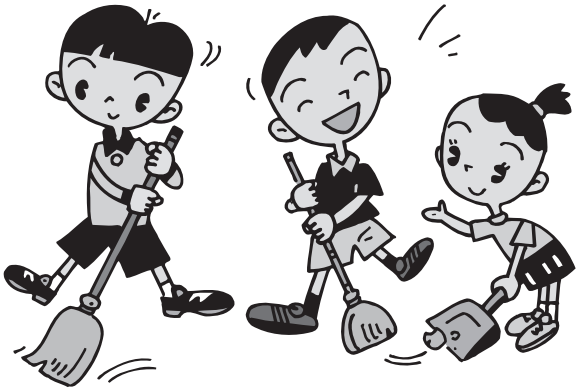
民生委員児童委員の活動　779万2千円（うち道777万8千円）

民生委員児童委員129人。

民生委員児童委員協議会経費　124万1千円（うち道124万円）

民生委員推薦会経費　23万5千円（うち道1万6千円）

民生委員児童委員協議会への補助　282万6千円



高齢者や障害のある方のために

【高齢者・障害のある方の基盤づくり】

老人福祉センターの運営管理　517万5千円

富士町7丁目11－1（☎㊽1303）

平成14年度の利用実績は、1万6千302件・2万4千753人。

老人福祉センター祭　32万5千円

老人福祉センターを拠点に活動する各種サークルと老人クラブ連合会による芸能発表や創作作品展示などの活動を紹介し、高齢者の交流を促進します。

平成15年度は、9月20日㈯の開催を予定しています。

老人趣味の作業所の運営　40万1千円（うち道29万9千円）

幌別町7丁目4－4（☎㉟8208）。平成14年度の利用実績は、1千526人。

老人憩の家の維持　354万8千円

老人憩の家の営繕　200万円

オストメイト対応用トイレ設置　73万7千円

オストメイト（人口肛門・人口膀胱をつけた方）に対応できるトイレを設置します。

▼設置場所　本庁、しんた21※（仮称）登別温泉ふれあいセンター、新市民プール、新火葬場、亀田記念公園にも整備します。

【生きがいづくり（補助金関連）】

高齢者バス割引定期券購入への助成　273万6千円

高齢者の社会参加を促すため、70歳以上の方が道南バス発行の登別・室蘭・伊達市内有効の割引定期券を購入する際、その一部を助成します。

生きがい対策事業への補助　20万円

登別市老人クラブ連合会が行うゲートボール大会やグラウンドゴルフ大会などの事業へ補助金を交付します。

長寿祝金などの贈呈　186万3千円

高齢者の長寿を祝い『長寿祝金』や『長寿祝品』を贈呈します。

平成15年度の長寿祝金は、88歳の方・165人、99歳の方・11人、長寿祝品は100歳以上の方・10人に贈呈を予定しています。

三市の高齢者の交流　24万4千円

登別市・室蘭市・伊達市の老人クラブ連合会がゲートボールやパークゴルフ大会、演芸大会などを通して相互の交流を図ります。

敬老会への補助　863万4千円

70歳以上の方を対象に敬老行事を行う町内会に対し、その経費の一部を補助します。平成15年度の対象予定者は、8千634人。

老人クラブ連合会への補助　120万円

老人クラブへの補助　429万円（うち道161万7千円）

市内老人クラブ46団体。

シルバー人材センターへの補助　1千万円

独居老人等緊急通報システム機器の設置　1千249万2千円（うち道936万8千円）

市内の一人暮らしの高齢者宅などに設置し、平成15年度は、20台の設置を予定しています。

老人日常生活用具の給付　193万7千円（うち道144万円）

在宅高齢者が日常生活を容易に営むことができるよう日常生活用具（電磁調理器など）購入費の一部を補助します。

また、要介護認定4以上の高齢者とその高齢者を介護する家族のいずれもが住民税非課税の場合に、介護用品（紙おむつなど）購入費の一部を補助します。

布団乾燥・電話・移送サービス　157万6千円（うち道117万3千円）

・**布団乾燥サービス**…寝たきり状態の65歳以上の高齢者などの布団乾燥を行います。

・**電話サービス**…65歳以上の高齢者だけの世帯や一人暮らしの高齢者で、病弱などの理由から近隣とのコミュニケーションが少ない方に電話をかけ、安否の確認や孤独感の解消を図ります。

・**移送サービス**…老人福祉センターを利用する65歳以上の高齢者を所定のバス停から送迎します。

▼問い合わせ　高齢福祉課（☎㊽5720）

老人ホームヘルプサービス　162万円（うち道114万円）

介護認定審査で『自立』と認定された方で、日常生活を営むのに支障がある高齢者に対し、要介護状態への進行予防や自立促進のため、ホームヘルパーを派遣し、日常生活のお手伝いをします。

老人デイサービス　272万円（うち道169万4千円）

介護認定審査で『自立』と認定された方で、日常生活を営むのに支障がある高齢者の自立促進や身体機能の維持向上を目的に、登別市社会福祉協議会と緑風園デイサービスセンターで入浴や食事などのサービスを行います。

老人ショートステイ　8万3千円（うち道6万1千円）

介護認定審査で『自立』と認定された方で、日常生活を営むのに支障がある高齢者を介護している家族が、病気などのため一時的に在宅での介護ができなくなったとき、特別養護老人ホームなどでお世話します。

配食サービス　888万5千円（うち道428万6千円）

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、心身に障害をもち調理が困難な方に、週2回栄養バランスの取れた食事の提供を行います。

地域総合整備資金貸付金（彩咲会）　3千300万円

※無利子融資のため、利子は市の負担ですが、その75％は普通交付税で国から市に交付されます。

彩咲会による老人福祉施設建設事業に伴い、地域総合整備資金貸付金（ふるさと融資）を活用し、民間事業活動を支援することで、活力ある地域づくりの推進を図ります。

養護老人ホーム恵寿園の運営　1億9千996万6千円（うち国3千766万1千円）

※運営費のうち人件費1億4千141万2千円。

川上町277－1（☎85－5043）。平成15年3月末日現在で59人が入園。

恵寿園の整備　300万円

ボイラー用煙突の改修工事を行います。

養護老人ホーム恵寿園敷地購入　2千800万円

高齢社会を支えるために

介護認定審査会の運営　955万５千円（うち国626万９千円）

保健・福祉・医療の各分野の専門家30人で構成され、介護認定申請者にどの程度の介護が必要となるか審査します。

▲介護認定審査会の様子

介護認定調査　１千583万７千円（うち国１千39万１千円）

介護認定申請者の介護認定を行うため、介護認定調査員が介護を必要とする方の身体の状況などの聞き取り調査を行います。

介護保険趣旨の普及　206万１千円

介護保険制度の説明会の開催やパンフレットの配布など、制度の仕組みや内容の周知を図ります。平成15年度は、『広報のぼりべつ』などに介護保険についての記事を掲載するほか、パンフレットを折り込む予定です。

介護保険運営協議会の運営　31万７千円

介護保険事業は、市町村介護保険事業計画を作成することが国から義務付けられています。この事業計画の進行や管理、予算、給付状況などについて協議するため、委員10人で構成する介護保険運営協議会を組織し、介護保険事業計画の進行管理や苦情処理の審査などを行います。

介護給付費請求書審査支払手数料447万５千円（うち国114万円・道55万９千円）

要介護・要支援被保険者が受けたサービスなどが正しく利用されているか内容を国民健康保険連合会に審査してもらうための手数料です。

ホームヘルプサービス低所得者利用者負担の軽減　375万３千円（うち道318万７千円）

生計中心者が所得税非課税である世帯の障害のある方や高齢者が、介護保険制度導入後もホームヘルプサービスを受けることができるよう負担の軽減

を図ります。

家族介護慰労金の支給　50万円（うち道37万5千円）

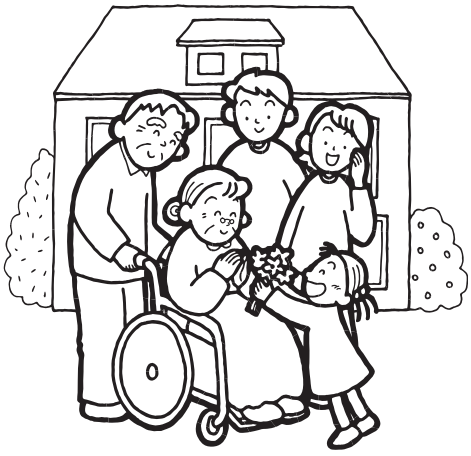
要介護度4・5で市民税非課税世帯の在宅高齢者が、過去1年間介護サービスを利用しなかった場合、介護をしている家族に対して慰労金を支給します。

在宅介護支援センターの運営　2千254万7千円（うち道1千676万7千円）

これまで、総合福祉センター『しんた21』内に『在宅介護支援センターしんた』を設置し、在宅の要援護者とその介護者からの在宅介護などに関する総合的な相談や関係機関への連絡など、保健・医療・福祉サービスの調整を行ってきました。平成12年度から、介護保険制度導入や在宅福祉に関する相談件数の急増に対応するため、新たに『在宅介護支援センターゆのか』と『在宅介護支援センターふれあい登別』を開設し、相談業務などを行っています。

・**在宅介護支援センターしんた**…片倉町6丁目9－1（☎㊽2221）
・**在宅介護支援センターゆのか**…登別温泉町133（登別厚生年金病院内☎㊾2165・内線580）
・**在宅介護支援センターふれあい登別**…登別東町3丁目1－2（☎㊸0511）

▼問い合わせ　高齢福祉課（☎㉟5720）



介護保険サービス

居宅介護・支援サービス給付費　5億9千213万4千円（うち国1億5千89万7千円、道7千403万5千円）

要介護・要支援被保険者が要介護または、要支援認定を受けたとき、在宅で訪問介護や通所介護などのサービスを受けた介護費用の9割を給付します。

特例居宅介護・支援サービス給付費　70万円（うち国17万8千円、道8万8千円）

要介護・要支援認定の申請前に、やむを得ない理由などでサービスを受けた介護費用の9割を給付します。

施設介護サービス給付費　15億4千982万2千円（うち国3億9千489万4千円、道1億9千372万8千円）

要介護被保険者が、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や介護老人保健施設、介護療養型医療施設に入所し、介護サービスを受けた介護費用の9割を給付します。

特例施設介護サービス給付費　100万円（うち国25万5千円、道12万5千円）

要介護被保険者が、要介護認定の申請前に、やむを得ない理由などで介護老人福祉施設などに入所し、サービスを受けた介護費用の9割を給付します。

居宅介護・支援福祉用具の購入　739万6千円（うち国188万4千円、道92万5千円）

要介護・要支援被保険者が購入した腰掛け便座や入浴補助用具など、一部の福祉用具の購入費の9割（10万円を限度とする）を支給します。

居宅介護・支援住宅の改修　3千644万6千円（うち国928万6千円、道455万6千円）

要介護・要支援被保険者の自宅の手すり取り付けや段差解消など、小規模な住宅改修にかかる費用の9割（20万円を限度とする）を支給します。

居宅介護・支援サービス計画給付費　9千260万7千円（うち国2千359万6千円、道1千157万6千円）

要介護・要支援被保険者が、指定居宅介護支援事業者のケアマネジャーに居宅介護サービス計画を作成してもらう費用の全額を給付します。

特例居宅介護・支援サービス計画給付費　120万円（うち国30万6千円、道15万円）

要介護・要支援被保険者が、指定居宅介護支援事業者以外の支援事業者に依頼して居宅介護サービス計画を作成してもらう費用の全額を給付します。

高額介護・支援サービス費　2千856万4千円（うち国727万8千円、道357万1千円）

要介護・要支援被保険者の利用者負担額の軽減を図るため、一定額を超えた分を所得に応じて支給します。

健康で暮らすために

療養給付　30億2千576万8千円（うち国9億5千131万8千円、道1千908万4千円）

国保加入者の入院や通院などにかかった医療費のうち、本人負担分を除いた医療費を各医療機関へ支払います。

療養費の支給　2千273万2千円（うち国705万5千円）

国保加入者が、被保険者証を提出せず診療を受けた場合などの医療費（本人が一時全額負担）のうち、本人負担分を除いた医療費を被保険者に支払います。

診療報酬明細書の審査　697万9千円

国民健康保険で診療を受けた医療費について医療機関から請求を受けたレセプト（診療報酬明細書）の内容に誤りがないかなどを審査します。

高額療養費の支給　4億603万7千円（うち国1億5千724万9千円）

国保加入者の医療費が高額になり、一部負担金の限度額（所得により異なります）を超える場合に支給します。

医療費通知　837万円8千円（うち国338万1千円）

国保加入者が診療を受けた受診年月日や医療機関名、医療費の総額などについて、年6回各種予防パンフレットなどを折り込みお知らせします。

葬祭費の支給　966万円

国保加入者が亡くなったときに葬儀を行った方に支給します。

▼支給額　3万円

脳ドックの助成　810万8千円

脳梗塞（のうこうそく）やくも膜下出血などの早期発見・早期治療の促進を図るため、脳ドック検査の一部を助成します。

▼問い合わせ　保険年金課（☎㊺1771）

▲登別厚生年金病院のＭＲＩ

▲宮町脳神経外科クリニックのＣＴスキャン

介護納付金　1億9千225万2千円（うち国1億223万3千円）

介護保険制度を社会全体で支えるため、介護サービスの給付費を国や道、市などが負担します。

老人保健医療費の拠出金　12億2千804万2千円（うち国6億1千969万円）

老人医療費の自己負担分を除いた医療費の一部を、国や道、市などが負担します。

高額医療費共同事業医療費の拠出金　1億688万7千円（うち国1千893万2千円、道2千672万1千円）

高額医療費の支払いに備えて、国民健康保険団体連合会へ各市町村などが負担します。

▼問い合わせ　保険年金課（☎㉟1771）

健康手帳の作成　18万円6千円（うち国6万7千円、道6万7千円）

40歳以上の働き盛りの方や高齢者の健康管理の促進と健康意識の向上を目的に、健康手帳を作成し交付します。

健康教育　39万9千円（うち国13万6千円、道13万6千円）

健康の増進や生活習慣病などの知識の向上を図るため、40歳以上の方を対象にした医師や保健師、栄養士による健康に関する講演会などを開催します。

機能訓練　158万1千円（うち国47万8千円、道47万8千円）

高齢者の自立促進を目的に、心身機能の維持・回復を図るため、歩行や起き上がりなどの基本動作訓練や、食事や入浴などをスムーズに行うための日常動作訓練、レクリエーションなどを行います。

訪問指導　95万9千円（うち国21万1千円、道21万1千円）

高齢者や、健康診査で要注意と診断された方に保健師などが訪問し、保健指導や栄養指導を行います。

健康診査　5千65万9千円（うち国501万8千円、道501万8千円）

病気の早期発見・早期治療の促進を目的に、基本健康診査や各種がん検診、歯科検診、C型肝炎検査行います。

検診名	対象	内容	負担額	実施予定回数（集団）
基本健康診査・肺がん検診	40歳以上の方	身体計測、血圧測定、尿検査、心電図、血液検査、胸部レントゲン検査 かくたん検査（希望者のみ）	個別：2,100円 集団：2,100円 かくたん検査：600円	10回
胃がん検診	40歳以上の方	バリウム検査	個別：2,900円 集団：　900円	11回
大腸がん検診	40歳以上の方	便潜血検査	個別：1,100円 集団：　500円	2回
歯周疾患検診	30歳以上の方	口腔内診査	無料	3回
子宮がん検診	30歳以上の女性の方	細胞診	頚部 個別：1,700円 頚部 集団：　600円	4回
			体部 個別：800円 体部 集団：700円	
乳がん検診	30歳以上の女性の方	視診、触診	個別：700円 集団：300円	4回
前立腺がん検診	50歳以上の男性の方	血液検査	1,100円	基本健康診査を受ける際の希望者のみ
肝炎検査	40歳以上の方で条件があります	血液検査	1,100円	基本健康診査を受ける際の希望者のみ

※個別検診とは、室蘭、登別市内の各医療機関で個別に受診する検診（通年実施）。
※集団検診とは、しんた21、鷲別公民館、婦人センターなどの会場で日程を定めて予約で行う検診。
※老人保健医療該当の方や国民健康保険加入の方、市民税非課税世帯の方などは無料です。

予防接種　4千512万3千円

感染症による病気の発生を未然に防止するため、各種予防接種を行います。

予防接種の種類	対象	内容
個別予防接種：各自が病院などで行う予防接種		
風しん	1歳から7歳6カ月と中学3年生	1回接種（麻しん接種後） ※中学3年生については、以前に風しんの予防接種を受けたことがある場合は接種を行わない。
麻しん（はしか）	1歳から7歳6カ月まで	1回接種
3種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）	3カ月から7歳6カ月まで	1期初回～それぞれ3～8週間の間隔で3回接種 1期追加～1期初回接種3回終了後12カ月から18カ月の間隔で1回接種
2種混合（ジフテリア・破傷風）	3カ月から7歳6カ月と小学6年生	3種混合の接種をする前に百日せきにかかった乳幼児は各医療機関で接種、小学6年生は2期として1回行う。
インフルエンザ（高齢者対象）	65歳以上（60歳以上65歳未満で内部障害手帳1級の一部の者）	実施期間：11月1日～12月末日（医療機関が実施する期間）一部自己負担あり。
集団予防接種：公共施設や各小中学校などで行う予防接種		
BCG	3カ月から4歳未満（ツベルクリン反応検査が陰性の方）	1回接種 ※ツベルクリン反応検査を行い、陰性の場合は接種する。
ポリオ（小児まひ）	3カ月以上7歳6カ月まで	2回投与で、1回投与後6週間過ぎて2回目を投与する。

結核検診　22万3千円

結核の早期発見・早期治療と、感染の予防を図ります。

▼**対象**　19歳から39歳までの方
▼**実施回数**　2回
▼**内容**　胸部レントゲン検査

エキノコックス症対策　40万2千円

エキノコックス症感染予防の周知や血清検査などを実施します。

▼**血清検査対象**　小学3年生以上の方
▼**実施回数**　1回
▼**問い合わせ**　健康推進課（しんた21内☎㊺0100）

インフルエンザ予防接種の助成　420万円

65歳以上の国保加入者を対象に、インフルエンザ予防接種の自己負担分を助成します（一人につき1千50円、1回限り）。

▼**問い合わせ**　保険年金課（☎㊺1771）

健康相談　17万3千円（うち国5万8千円、道5万8千円）

生活習慣病や介護などについての相談や指導を行い、健康の保持・増進を図ります。

健康まつり　74万5千円

健康づくりの意識向上を図るため、健康相談や健康ウオークなどを行います。

▼開催場所　総合福祉センター『しんた21』（片倉町6丁目9－1）

健康増進　370万6千円

健康の維持・増進を図るため、しんた21を会場にエアロビクス教室（毎週火曜日）とジャズダンス教室（毎週金曜日）を開催します。

▼問い合わせ　健康推進課（しんた21内☎㉟0100）

健康講演会の開催　25万円

ときめき大学や婦人短期大学、PTAなどを対象に、健康づくりについて講演会を開催します。

▼問い合わせ　社会教育課（☎㊽1129）

各種がん検診料の助成　437万9千円

しんた21で行われる胃がん検診などを受診した国保加入者の費用を全額助成します。

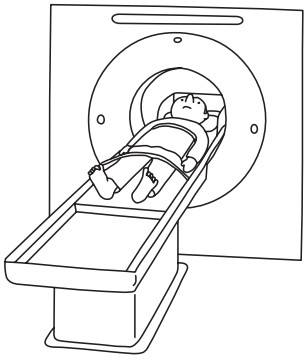
短期人間ドックの助成　832万円

国保加入者が受診した短期人間ドックの費用を一部助成します。

▼対象者　現在、入院や通院をしていない満20歳以上の国保に加入している方

▼自己負担額　3千円（70歳以上は2千500円）

▼問い合わせ　保険年金課（☎㉟1771）



母と子の健康のために

母と子の健康のために　952万8千円（うち国39万3千円、道39万3千円）

▼**問い合わせ**　健康推進課（しんた21内☎㊽0100）

名称	内容	対象	実施	費用
幼児歯科保健	フッ素塗布	1歳6カ月児健康診査を受けた幼児が対象	年4回	800円
4カ月児健康診査	問診、身体計測、栄養相談、育児相談	満4カ月を過ぎた乳児とその保護者	毎月1回	
1歳6カ月児健康診査	問診、身体計測、内科健診、歯科検診、栄養相談、育児相談、フッ素塗布の予約	1歳6カ月児とその保護者	毎月1回	
8カ月児相談	問診、身体計測、離乳食の説明、育児相談、栄養相談、遊びの紹介	7～8カ月の乳児とその保護者	毎月1回	
妊婦健康診査	一般健診、超音波検査HBs抗原検査（B型肝炎）、HBs抗原検査陽性者指導	・一般健診：妊婦の方全員 ・HBs抗原検査：妊婦の方全員 ・超音波検査：35歳以上の妊婦 ・HBs抗原検査陽性者指導：HBs抗原検査で陽性と判定された方	医療機関などで各自が受診	
3歳児健康診査	問診、身体測定、内科健診、歯科検診、育児相談、栄養相談、遊びの紹介、視聴覚検査	3歳児とその保護者	毎月1回	
赤ちゃん訪問など	保健婦が家庭を訪問し妊産婦や乳幼児の保護者に育児などのアドバイスを行う	妊産婦や乳幼児のいる家庭の希望者など	随時	
健やか親子教室	マタニティ編：もく浴やおむつ交換、妊婦疑似体験	妊婦か夫婦	年3回	
	赤ちゃん編：親子遊びの紹介や交流会	乳児とその両親	年3回	

出産育児一時金の支給　1千650万円

国保加入者が出産したときに支給します。

▼**対象**　国保加入者で妊娠4カ月を過ぎて出産した方

▼**支給額**　30万円

▼**問い合わせ**　保険年金課（☎㊽1771）

子どもたちの健康のために

新入学児童の健康診断　19万3千円

小学校へ入学予定の児童を対象に、胸部や皮膚疾患、視力、聴力、耳鼻咽喉科、歯などの健康診断を行います。

平成15年度は、新入学児童447人を対象に9会場で健康診断を行う予定です。開催時期は11月を予定しています。

児童生徒の健康診断　2千126万9千円

小・中学生を対象に、内科健診や歯科検診、尿検査を行うほか、小学1年生と中学1年生を対象に眼科・耳鼻咽喉科・心臓健診を行います。

また、小学1年生からを対象に回虫卵・ぎょう虫卵検査を行います。

▼**問い合わせ**　学校教育課（☎㊽1162）

地域医療体制の整備

地域医療の推進　１千26万５千円

休日や夜間の救急医療体制を確保するため、医師会や歯科医師会などと連携しながら保健医療の円滑化を図ります。

- **地域医療対策等経費**…358万６千円
- **救急医療対策事業負担金**…426万円
- **室蘭・登別保健センター起債償還費負担金**…241万９千円

献血推進事業への補助　３万円

障害のある方のために（助成金・給付関係）

身体障害者施設入所者への支援費　１億２千38万４千円（うち国５千920万９千円）

身体障害者施設に入所している方の入所費用を支出します（入所者本人と扶養義務者は、所得に応じた費用を負担）。

身体障害者自動車燃料の助成　49万２千円

身体に障害のある方が補装具として市から車いすを受給されている場合、日常生活に使用する自動車の燃料費のうち、税額相当分を助成します。

身体障害者自動車運転免許取得費の助成　21万円

身体に４級以上の障害のある方が、自動車運転免許を取得しようとするとき、その費用の一部を助成します。

身体障害者自動車改造のための助成　20万円

肢体に２級以上の障害のある方が、就労などのため、自ら所有し運転する自動車を改造する費用の一部を助成します。

社会福祉施設入所者（児）面会のための助成　20万円

道内の福祉施設に入所している方の家族に、面会に要する交通費を年２回まで助成します。

重度心身障害者在宅世帯等水道使用料金の助成　645万円２千円

心身に重度の障害のある方や寝たきり状態の高齢者を介護する世帯に、水道使用料金のうち基本料金相当額を助成します。

重度身体障害者（児）日常生活用具給付費　335万６千円（うち国10万円、道157万７千円）

在宅で重度の障害のある方が、日常生活を容易に営むことができる、日常

生活用具（特殊寝台など）を給付します。

重度障害者（児）福祉タクシー関係経費　436万7千円

身体に2級以上の障害（下肢や視覚など）のある、バスなどの交通機関の利用が困難な方がタクシーを利用する場合、料金の一部を助成します。

知的障害者施設入所者への支援費　2億7千29万4千円（うち国1億3千138万1千円）

知的障害者施設に入所している方の入所費用を支出しています（入所者本人と扶養義務者は、所得に応じた費用を負担）。

身体障害者（児）補装具給付費　2千198万7千円（うち国1千99万3千円）

身体障害者手帳を交付されている方が、身体の機能を補うために用いる補装具の交付や修理を行います。

障害児居宅への支援費　441万2千円（うち国220万5千円）

在宅で障害のある児童を対象に、デイサービスやホームヘルプサービス、ショートステイのサービスを行い、在宅生活を支援します。

重度心身障害児介護手当給付費　744万円

心身に重度の障害のある20歳未満の方を介護している保護者に手当を支給します。

特別障害者手当などの支給　3千490万5千円（うち国2千615万1千円）

・**特別障害者手当**…在宅の20歳以上の方で、日常生活において常時特別の介護を必要とする方に手当を支給します。

・**障害児福祉手当**…在宅の20歳未満の方で、日常生活において常時介護を必要とする方に手当を支給します。

重度心身障害者医療費助成経費　2億5千694万6千円（うち道9千742万6千円）

身体障害者手帳（1級・2級・3級【内部障害】）を交付されている方や重度の知的障害と診断された方の医療費の一部を助成します。

▼問い合わせ　保険年金課（☎㉟1771）

心身障害者居宅支援費関係経費（ショートステイ）　77万6千円（うち国38万7千円、道19万4千円）

身体障害者手帳を交付されている18歳以上の方を介護している家族が、病気などのため一時的に在宅での介護ができなくなったとき、北海道リハビリテーションセンターなどでお世話します。

心身障害者居宅支援費関係経費（デイサービス）　1千342万6千円（うち国671万3千円、道335万6千円）

身体障害者手帳を交付されている18歳以上の方の自立促進や生活の改善、

身体の機能の維持向上を目的に、しんた21で各種講座の開催や入浴、食事サービスを行います。

心身障害者居宅支援費関係経費（ホームヘルプサービス）　2千771万円（うち国1千385万5千円、道692万7千円）

心身に障害のある、日常生活に支障のある方などの家庭にホームヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助などのサービスを行います。

心身障害者居宅支援費関係経費（グループホーム）　2千910万4千円（うち国1千455万2千円、道727万6千円）

地域で共同生活する知的障害のある方の日常生活の援助を行います。

精神保健対策経費　48万5千円（うち道9万9千円）

精神障害のある方の経済的負担を軽減することにより、社会復帰の促進とその自立、社会経済活動への参加の促進を図るため、社会復帰施設などに通所するための交通費に対して助成します。

精神障害者居宅支援事業　313万4千円（うち道228万8千円）

精神障害のある方が地域で自立した生活が送れるよう、ホームヘルパーが訪問し家事の援助や生活の仕方の相談に応じるなど生活を支援するホームヘルプ事業や、介護している家族が不在のときなどに安心して生活できる場所を短期間に確保・提供するショートステイ事業などを行います。

障害のある方のために（補助金）

登別視力障害者協会への補助　5万円

登別市手をつなぐ育成会への補助　10万円

登別身体障害者福祉協会への補助　46万円

心身障害者地域共同作業所運営のための補助　552万円（うち道276万円）

登別市肢体不自由児（者）父母の会への補助　27万円

精神障害者ボランティア活動支援事業への補助　20万円（うち道10万円）

精神障害者共同住居運営のための補助　214万8千円（うち道107万4千円）

精神障害者通所授産施設運営のための補助　138万4千円

障害のある方のために（施設関連）

児童デイサービスセンターのぞみ園の運営管理　2千159万円（うち国164万1千円、道27万2千円）

※運営管理費のうち人件費2千39万円。

すずかけ作業所（小規模通所授産施設）の運営　559万2千円（うち道352万9千円）

※運営費のうち人件費495万9千円。

自立した暮らしへの支援

母子家庭などへの医療費の助成　3千898万円（うち道1千719万円）

▼**問い合わせ**　保険年金課（☎㉟1771）

生活保護扶助費　18億5千872万1千円（うち国13億9千329万円、道1億3千830万1千円）

▼**問い合わせ**　社会福祉課（保護）（☎㉟2008）

地域で担う子育て支援

放課後児童クラブの運営　511万8千円（うち道28万9千円）

※運営費のうち人件費419万6千円。

『放課後児童クラブ』は、共働きや母子・父子家庭などのため、昼間、保護者のいない児童が放課後や夏・冬・春休み中、安全に安心して過ごせる場所として設置されています。

・**富岸児童クラブ**…富岸町2丁目23－15（富岸青少年会館内☎㊼0034）。平成14年度末の登録児童数は34人。

・**常盤児童館内児童クラブ**…常盤2丁目34－1（常盤児童館内☎㉟1840）。平成14年度末の登録児童数は12人。

▼**開館時間**　授業のある日…放課後から18時まで、授業のない日…9時から18時まで

▼**休館日**　日曜日、祝日、年末年始

▼**利用料**　月額6千円（母子・父子家庭で一定の所得以下の場合は3千円）

子育て支援センターの運営　1千163万7千円（うち道540万3千円）

※運営費のうち人件費1千116万9千円。

子育てについての相談業務や指導、子育てサークル支援活動を行うほか、おやつ作りや離乳食作りなどの「子育て講座」を開催し、子育てを支援します。

平成14年度の利用者数は、親子が自由に遊ぶ『センター開放日』が1千614人、身近な遊びや絵本を紹介する『あそびの紹介』が372人、電話などによる育児相談が81件ありました。

こどもショートステイ事業　19万1千円（うち道12万6千円）

病気などにより児童の養育が一時的に困難になった家庭の児童を7日間まで児童養護施設で養育します。（利用者は、所得に応じた費用を負担）

・**児童養護施設『わかすぎ学園』**…室蘭市母恋南町5丁目5－39

▼**問い合わせ**　児童家庭課（☎㊺5634）

乳幼児の医療費の助成　6千494万8千円（うち道2千737万円）

健康保険に加入している6歳未満の子どもの医療費の一部を助成します。

・0歳から3歳に達する日の属する月の月末までの入通院。

・3歳から6歳に達する日の属する月の月末までの入院。

▼**問い合わせ**　保険年金課（☎㊺1771）

日胆はまなす里親会への補助　3万円

病院内等保育事業への補助　112万5千円

病院や事業所内で保育を実施している団体へ補助金を交付します。

児童手当の支給　1億4千993万円（うち国1億1千219万1千円、道1千886万7千円）

小学校入学前の子どもを養育している方に支給します。

災害遺児手当の支給　36万円

交通事故などの災害で父母またはそのいずれかが死亡もしくは重度の障害の状態となったとき、その児童を養育している保護者に手当を支給します。

児童と高齢者との交流事業　117万4千円（うち道76万円）

保育所入所児童が、ミニ運動会や遠足などを通して、地域の高齢者やのぞみ園通所児と交流を深めます。

あそびの広場の開催　40万円（うち道24万円）

『子育て支援センター』を会場に、親子で遊ぶ楽しさを体験し、遊びを通して親同士の交流を深める『あそびの広場』。平成14年度は4回開催し、87人が参加しました。本年度は4回の開催を予定しています。

▼**対象**　1歳児グループ…1歳6カ月～2歳5カ月、2歳児グループ…2歳6カ月～3歳6カ月（初参加の方のみ）

▼**内容**　親と子の遊び、集団遊び、手遊びなど

▼**問い合わせ**　児童家庭課（☎㉟５６３４）・子育て支援センター（☎㉛３７１５）

ファミリーサポートセンターの運営　880万円（うち国425万円、道106万2千円）

男性と女性のいずれもが仕事と子育てを両立できる環境づくりを目的に、ファミリーサポートセンターを運営しています。センターでは、子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と援助をしたい人（提供会員）の双方が会員となり、依頼会員が残業や急用などのとき、提供会員が子どもを保育所などへ送迎したり、提供会員の自宅で預かったりする新しい形の子育て支援です。

報酬は、援助終了後に依頼会員が提供会員へ1時間につき500円（土・日曜日、祝日、病児は600円）を支払います。

平成14年度末の依頼会員数は332人、提供会員数は125人、両方会員は80人の計537人。平成14年度に預かった人数は延べ1千21人。

▼**問い合わせ**　登別市ファミリーサポートセンター（しんた21内☎㉟００３３）

保育所の運営管理　4億9千519万4千円（うち国1億827万1千円、道7千258万円）

※運営管理費のうち人件費4億1千550万7千円。

共働きや母子・父子家庭、病人の介護、災害などのため、保育に欠ける児童を預かり、集団保育します。4月1日現在の入所児童数は431人。

・**保育所学校給食指導費**…小学校入学前の5歳児を対象に学校給食の指導を行います。

・**延長保育の実施**…共働き世帯の増加などに対応するため、鷲別保育所や富士保育所、栄町保育所、幌別東保育所では18時から1時間の延長保育を行います。

・**保育所広域入所**…保護者の就労状況などに応じて、市内の保育所だけではなく、室蘭市や伊達市、白老町の保育所に児童を入所させることができます。

平成14年度は室蘭市の保育所に13人、白老町に7人の児童が入所しました。

登別保育所建替事業　6千458万2千円

登別保育所を建替えするため、実施設計の策定や用地買収などを行います。

栄町保育所整備事業　1千万円

栄町保育所の屋上防水工事を行います。

幌別東保育所整備事業　700万円

幌別東保育所の暖房設置の補修を行います。

障害のある児童などの保育　44万9千円

心身に障害のある児童や発達に心配のある児童の保育を市内の全保育所で行います。

▼問い合わせ　児童家庭課（☎㊽5634）

児童館・児童センターの運営管理　4千811万3千円

※運営管理費のうち人件費3千946万8千円。

児童が、遊具や図書、製作用具などを使い、ゲームや運動をしたり、工作や絵を描いたりして、地域の児童の連帯感をはぐくみます。平成14年度の利用者数は延べ6万576人。

男女共同参画社会づくり

男女共同参画社会づくりの推進　89万円

女性と男性がお互いの人権を尊重し合い、それぞれの個性と能力を発揮しながら、共に支え合う男女共同参画社会の形成を目指します。

・男女共同参画社会づくりの推進…74万円

『登別市男女共同参画基本計画（のぼりべつ・はぁもにぃプラン21）』の着実な推進を図ります。情報コーナーの設置・パネル展などの広報啓発活動や講演会などの開催、男女共同参画を推進する市民団体の活動を支援します。

・民間シェルター運営補助金…15万円

夫や恋人などからの暴力から逃れる女性の心身の安全確保や自立のための支援を行っている民間シェルター『ネット・マサカーネいぶり』の運営を支援します。

▼問い合わせ　企画課（☎㊽1122）

▲男女共同参画啓発ビデオ

三市女性国内派遣研修負担金　38万円

地域で活動している女性団体のリーダーなどを先進地に派遣し、各地における女性の社会参加や女性団体活動、学習活動について研修を行います。平成14年度までの派遣人数は79人（参加者は参加経費の一部を負担）。

▼**問い合わせ**　社会教育課（☎㊽1129）

婦人活動振興への助成　73万円

市内各地区の婦人会などの団体で構成され、研修会や婦人大会を開催しているほか、地域イベントなどに積極的に参加している『登別市婦人団体連絡協議会』の活動を支援するため、助成金を交付します。

▼**問い合わせ**　社会教育課（☎㊽1129）

女性の健康づくり　85万9千円

検診機会の少ない年代の女性を対象に健康診査を行い、生活習慣病の予防や健康づくりの意識促進を図ります。

▼**問い合わせ**　健康推進課（しんた21内☎㊺0100）

対　象	内　容	料　金
18歳以上39歳以下の方	血圧測定、身体計測、尿検査、血液検査、胸部レントゲン検査、希望により歯周疾患検診	1,500円
30歳以上69歳以下の方	骨粗しょう症検査	500円

第2章

自然とともに暮らすまち

環境保全・自然とのふれあい・ごみとリサイクル・下水道・火葬場・霊園・防災・消防・救急・防犯・交通安全・消費生活

- 資源循環型社会の構築に向けて
- 人と自然のふれあい拠点の形成
- 生活環境の保全
- 美しい自然を守り、住みよい環境をつくるために
- 下水道事業の推進
- 火葬場・霊園の整備
- 災害に強いまちづくり
- 消防・救急体制の整備
- 犯罪のないまちを目指して
- 交通安全対策
- 安全な消費生活

資源循環型社会の構築に向けて

総合的な環境保全の推進　93万円

環境基本計画に基づく施策の取り組み状況や温暖化対策推進法に基づく市の事務事業に関する実行計画、環境配慮指針、グリーン購入法に基づく環境物品等の調達方針などの進行管理を行います。

また、環境基本計画を市民、事業者、民間団体と協働して推進するため、環境保全市民会議を設立するとともに、環境保全審議会の運営を行います。

※環境保全審議会…市民や学識経験者、事業者、民間団体員など20人の委員で構成され、環境の保全などに関する基本的事項を調査・審議します。

地域新エネルギービジョンの策定　8万円

登別市における環境にやさしい新エネルギーの導入の可能性などについて調査を行い、その実現性を探る事業の準備を行います。

人と自然のふれあい拠点の形成

野生生物データベースの作成　33万円

希少野生生物の保護や育成、生息環境の保全を図る具体的施策の検討を図るためのデータベース化を目指します。

平成15年度は、行政や各自然愛好団体が保有するデータの集約の方針を定め、データの集約を行います。

市民農園　66万円

自然とのふれあいや高齢者の生きがいづくりなどの場として開園します。

▼**開設期間**　4月下旬～10月下旬
▼**場所**　札内町
▼**区画数**　40区画（1区画約50平方メートル）
▼**施設**　水道施設、簡易トイレ
▼**利用料**　1区画　7千円
▼**問い合わせ**　農林水産課（☎㉟2321）

ふぉれすと鉱山の運営管理　4千515万4千円

※運営管理費のうち人件費2千112万6千円。

平成14年4月にオープンした宿泊型の自然体験学習施設『ふぉれすと鉱山』では、人と自然のふれあう場として、自然環境に配慮・調和したさまざまな体験活動ができます。

・自然を教材にし、直接的な体験を重視した多彩なプログラムを利用者に提供します。

・日常の調査業務から得た旬の自然情報を発信します。

▼問い合わせ　ふぉれすと鉱山（☎㊽２５６９）

2003年度　ふぉれすと鉱山行事（平成15年4月～16年3月）

事業名	内容	
ふぉれすと鉱山スペシャルウィーク お休みの日は、ふぉれすと鉱山で決まりだねッ！ いろんな遊びを取りそろえて待ってるよ！	・ゴールデンスペシャルウィーク ・夏休みスペシャルウィーク ・冬休みスペシャルウィーク	4月29日㈫～5月5日㈪ 8月12日㈫～17日㈰ 1月7日㈬～12日㈪
指導者ステップアップ講習 自然・環境・教育に興味のある方向けの講習会	・教員向け指導者ステップアップ講習 ・ボランティア養成講座 ・川の遊びと安全	5月21日㈬～22日㈭ 5月31日㈯～6月1日㈰ 6月7日㈯～8日㈰
ジュニアチャレンジキャンプ ちょっとハードな自然体験に挑戦！ 今年も冒険しまくるぞ！	・夏休み全開キャンプ ・冬休み耐寒キャンプ　高学年 　　低学年	8月1日㈮～3日㈰ 2月14日㈯～15日㈰ 2月28日㈯～29日㈰
鉱山流自然体験のすすめ これから自然体験を始めようとしている大人のためのプログラム	・鉱山流秋の楽しみ方 ・冬の動物たち ・ネイチャースキー入門	10月19日㈰ 11月29日㈯ 1月25日㈰
にちようびはふぉれすとたいむ 親子で夢中になって、遊んじゃおう！ 幼児と親子対象のプログラム	・かわらであそぼう ・おちばであそぼう ・ゆきであそぼう	9月14日㈰ 10月26日㈰ 2月1日㈰
みんなで調べよう！調査イベント みんなで鉱山町の自然を調べよう！ 調べた結果をかたちにして、公開します。	・鉱山流フラワーソン	5月25日㈰
子ども自然教室 今年、さらにパワーアップ！自然を楽しく学んじゃおう。	・魚を探そう ・鉱石を探そう	9月21日㈰ 10月5日㈰

※都合により、日程を変更することがありますので、ご了承ください。

鉱山地区森林公園の整備　1千5万円

※750万円の市債を借り入れて実施。この市債にかかる元利償還金の30パーセントが後年度、普通交付税で国から市に交付されます。

『ふぉれすと鉱山』周辺の森林が市民の憩いの場となるよう、用地確定のための測量と土地や立木の購入を行います。

キウシト湿原緑地の保全　9千368万2千円（うち国（現年分）1千500万円・（繰越分）1千500万円、道150万円・平成14年度からの繰越額4千550万円）

※平成14年度からの繰越分は、国の補正予算に対応したもので、3千万円の市債を借り入れて実施。この市債にかかる元利償還金の100パーセントが後年度、普通交付税で国から市に交付されます。

環境省から重要湿地に選ばれているキウシト湿原の保全に必要な用地を取得するとともに、保全に向けた対策・工法を検討するため、湿原内の水位・水質や地下水の観測を行います。

▼**問い合わせ**　都市計画課（☎㊽4115）

みどり豊かなまちづくりの推進　581万円

・**市民緑化推進事業**…各町内会を対象に、希望する樹木や多年草などを配布し、公園などの公共施設へ植栽します。

・**花いっぱい運動**…公共施設へのプランターの設置や地域の団体などの花植え活動を進めるため、市民憲章推進協議会と連携し、花苗の配布を行います。

・**沿道美化事業**…道道弁景幌別線などの沿道花壇へ、町内会や商店会などの参加のもと、花植えを年2回行います。（春：パンジー、夏：インパチェンス）

・**市民記念植樹事業**…結婚や誕生などの記念植樹者を募り、記念者やその家族による植樹を秋に行います。

・**沿道緑化推進事業**…みどりの少ない国道沿いの空き地や鷲別地区道道沿いの植樹ますに緑化推進協議会や町内会が中心となって植栽を行います。

・**試験育苗事業**…緑化推進協議会が中心となり、町内会などの協力のもと、ビニールハウス内で種から花苗を育てる試験育苗を行います。

・**『みどりの講演会』『みどりの教室』**

…自然やみどりについての講演会や家庭園芸などの講習会を開きます。

・グリーンデータバンク…家庭で不要になった樹木などの有効活用を図るため、樹木の提供情報などを『広報のぼりべつ』に掲載するとともに、受け取り希望者への仲介を行います。

・みどりづくりマニュアル…庭木や花など、家庭のみどりづくりに関するマニュアルを作成し、希望者に配布します。

▲みどりづくりマニュアル

生活環境の保全

リサイクルの啓発　135万9千円

びんやペットボトルの資源ごみを回収し、ごみの減量化や資源の再利用を図るほか、ガーデニング講習会やリサイクル教室などを開催してリサイクルに対する意識の高揚を図ります。

リサイクルまつり'03イン登別・白老の開催　65万円

リサイクルまつりを通して、市民にごみの減量やリサイクル意識の向上を促し、資源循環型社会の形成に努めます。

指定ごみ袋の作成　3千154万2千円

費用負担の公平化やごみの減量、処理費用の軽減などを図るため、家庭から排出されるごみの有料制を継続実施し、指定ごみ袋作成などを行います。

ごみステーションネット化推進事業への補助　6万6千円

ごみステーションにネットを掛けることにより、周辺の美観や衛生の保持、ごみ収集の効率化を図るため、町内会に対し、ごみネット購入費の一部助成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付します。

ごみ再資源化推進事業への補助　45万円

ごみの減量やリサイクルの普及・啓発、ごみステーション管理や分別排出の協力を町内会に呼びかけるクリーンリーダーの育成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付します。

生ごみ堆肥化容器購入への補助　30万円

家庭から出る生ごみの減量化とごみの有効利用を目的に、生ごみ堆肥化容器購入費用の一部助成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付します。

資源回収の奨励　432万円

新聞紙や金属類、生きびんなどの再利用可能な資源回収を行う町内会や婦人部などの登録団体に対し、奨励金を交付します。

登別市衛生団体連合会運営事業への助成　18万円

市内の全町内会で組織し、春・秋のクリーン作戦や清潔で美しい街づくりのための各種事業の啓発活動を行う登別市衛生団体連合会に、補助金を交付します。

塵芥（じんかい）の収集運搬　1億2千957万円

ごみステーション（市内約1千400カ所）のごみの収集や運搬を行います。

千歳最終処分場の整備　2億1千151万2千円（うち国3千26万8千円）

※平成15年度は、1億5千430万円の市債を借り入れて実施。このうち、1億1千430万円については元利償還金の50㌫が、2千800万円については元利償還金の30㌫が後年度、普通交付税で国から市に交付されます。

平成11年度で埋め立てを終了した千歳最終処分場を適正に閉鎖するため、浸出水処理施設やガス抜き設備などを整備するとともに、最終覆土を施し、緑化します。

クリンクルセンターの運営管理　5億8千775万7千円

旧清掃工場のストックヤード化など　2億7千942万7千円（うち国330万2千円）

※平成15年度は、1億6千10万円の市債を借り入れて実施。この市債にかかる元利償還金の30㌫が後年度、普通交付税で国から市に交付されます。

旧清掃工場の焼却設備を解体撤去し、建屋はストックヤード（資源物などを保管する施設）として有効利用できるように整備します。

また、旧清掃工場の解体にあわせて、カルルス町と常盤町の旧塵芥（じんかい）焼却炉も解体します。

▲旧清掃工場

クリーンチケット取扱店の委託　237万円

市民のみなさんの利便性を図るため、地域ごと（市内55カ所）にクリーンチケット取扱店を設置しています。

▼**問い合わせ**　環境資源課（クリンクルセンター内☎㉟2958）

廃棄物管理型最終処分場の運営管理　5千214万4千円

▲廃棄物管理型最終処分場

美しい自然を守り、住みよい環境をつくるために

公害対策　134万5千円

交通騒音調査や河川の水質測定調査、大気中のダイオキシン類の測定などを行います。

し尿処理施設の維持管理　3千419万6千円

し尿処理施設の運転管理　3千429万3千円

し尿の収集　8千79万8千円

し尿処理世帯は、約7千769世帯。し尿収集量は約1万6千200キロリットル。

し尿処理施設の整備　1千200万円

野犬掃討・畜犬登録・カラスの巣駆除　733万3千円

▼**問い合わせ**　環境資源課（クリンクルセンター内☎㉟2958）

有害鳥獣の駆除　68万1千円

▼**問い合わせ**　農林水産課（☎㉟2321）

登別市民有林造林推進のための補助　1千210万円（うち道567万円）

※平成15年度の全体事業費4千192万円のうち、国が2千982万円、市が1千210万円を負担。

伐採跡地の森林の荒廃を防ぎ、森林資源の確保を図るため、鉱山地区の植栽のほか、幼木を保護するため、鉱山・川上地区の草刈りを行います。

登別市森林愛護啓蒙事業への補助　22万円

森林の保護　67万8千円

森林資源の保護や巡視活動などによる林野火災予防の啓発や治山施設の維持などを行います。

河川環境整備の特別対策への補助　30万円（うち道30万円）

来馬川沿いの町内会や商店街振興組合、商工会議所青年部などで組織する『来馬川を愛する会』が行う春と秋の河川敷の清掃や草刈りなどの活動を支援します。

▼問い合わせ　管理課（☎㉟３２３０）

下水道事業の推進

※平成15年度は、13億2千円の市債を借り入れて実施。この市債にかかる元利償還金の50㌫は、後年度普通交付税で国から市に交付されます。

公共下水道の整備　15億7千137万6千円（うち国4億4千500万円）

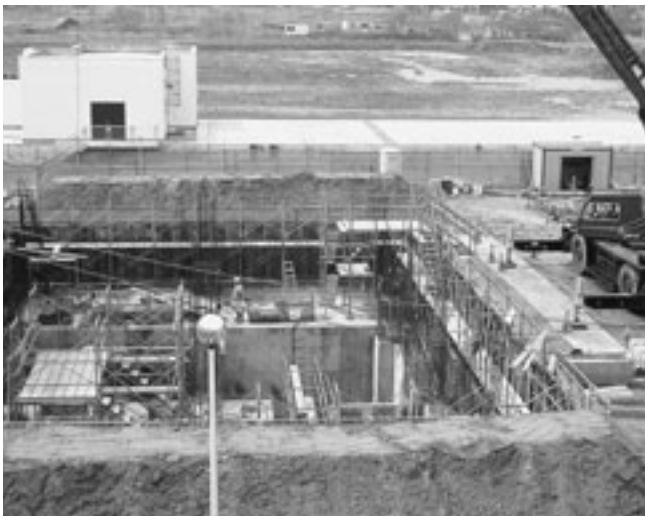
鷲別町の整備を引き続き進めるほか、登別地区に向けた幹線管渠（きょ）の整備などを行います。

幌別ポンプ場の建設　2億3千万円（うち国1億1千500万円）

平成15・16年度の2カ年で、登別地区の汚水を中継するための施設を建設します。供用開始は、平成17年度を予定しています。

若山浄化センターの増設　4億7千520万円（うち国2億5千900万円）

若山浄化センターに流入する汚水の増大に対応するため、増設工事を平成14年度に引き続き行います。



下水道管の清掃調査など　2千848万円

下水道管内の沈でん物を除去し、破損状態を把握して今後の維持計画を立て適正な管理を行います。

下水道管やマンホールなどの補修　2千726万5千円

若山浄化センターの運営管理　1億723万2千円

下水道汚泥の処分　3千92万4千円

若山浄化センターで発生する下水道汚泥をクリンクルセンターで焼却処分します。

水洗化工事の補助など　2千254万円

◎水洗便所改造などの補助…1千815万円

下水道供用開始から1年以内に自己資金で個人住宅の水洗化工事を行う方（新築を除く）に補助します。

▼補助金額

①水洗便所改造工事…1カ所当たり2万3千円

②排水設備設置工事…1件につき1万円

③①と②の工事を行った場合…3万3千円

◎水洗便所改造などの融資あっせん利子補給金…439万円

下水道供用開始から3年以内に水洗化工事を行う方の、借入金の利子分を市が負担します（3年を過ぎた方は半額負担）。

▼融資あっせん限度額

①水洗便所改造工事…1カ所当たり38万円以内

②排水設備設置工事…1件につき21万円以内

③①と②の工事を行った場合…59万円

※土地の形状で、工事費が59万円を超える場合は、超えた額の半分を加算します。

▼問い合わせ　下水道課（☎㊽9052）

公共施設の水洗化　395万円

平成15年度は、鷲別保育所を水洗化します。

火葬場・霊園の整備

墓地・火葬場の運営管理　2千370万2千円

※運営管理費のうち人件費1千420万2千円。

火葬場の建て替え　9億1千287万4千円

施設全体が老朽化しているため、平成14年・15年度の2カ年で建て替えます。

▲完成イメージ図

（仮称）新富浦墓地の造成　8千515万3千円

既設墓地数の不足に対応するため、3期に分けて新墓地を造成します。

墓地管理基金への積み立て　14万8千円

墓地の整備や清掃などを行うため、富浦墓地や亀田霊園、中登別墓地の区画墓地貸付時の墓地管理清掃手数料を積み立てしています。

▼問い合わせ　市民課（☎㉟1855）

災害に強いまちづくり

災害対策　901万円

災害の発生を未然に防ぐために警戒出動するほか、災害による被害が発生した場合に迅速な応急復旧を実施します。平成14年度の注意報・警報発表による災害出動件数は4件で、被害の発生はありませんでした。

避難所表示板の設置　80万円

屋内避難所の表示板の設置を終え、屋外避難所の表示板の設置を年次的に進めています。平成15年度は新たに10カ所の設置を予定しています。

防災資機材購入整備に対する補助　120万円

町内会などによる自主防災組織の防災活動に要する資機材購入に対し、補助金を交付します。

災害見舞金　85万円

災害による被害を受けた市民へ、被害状況などに応じ、災害見舞金を支給します。

総合防災訓練の実施　115万6千円

平成15年度は、7月中旬に中央地区で地震や大雨災害を想定した総合防災訓練を行います。

防災対策　118万3千円

災害に備えるため、防災組織や非常時の配備体制などを定めた『地域防災計画』の整備や、防災対策などについて検討する防災会議の開催（年1回）、防災行政無線の整備などを行うほか、災害時の情報の通報などを行う防災協力員を各町内会などに1人ずつ委嘱し（107人）、防災対策の充実を図ります。

▼問い合わせ　総務課（☎㉟1130）

登別温泉中央通り道路災害防除　1億2千630万円（うち国2千200万円）

登別温泉町の五色橋付近のがけ崩れを防止するため、昨年に引き続きのり面（急斜面）改良を行います。

河川の維持補修　567万5千円

市内を流れる川の河川敷の草刈りを行うほか、昨年に引き続き、大雨による川の氾濫（はんらん）被害を防ぐため、サト岡志別川などの河川内の土砂や草の除去を行います。

河川防護柵の設置　200万円

消防・救急体制の整備

消防ポンプ自動車の購入　2千242万7千円（うち国408万9千円）

登別温泉支署に配置している消防ポンプ自動車を更新します。

消火栓の新設　700万円

市内には消火栓や防火水槽、大容量防火井戸などの消防用水を確保するための施設が616カ所ありますが、消火活動を迅速に行うため、消火栓を適正に配置します。平成15年度は1基新設し、6基を更新します。

救急救命士の養成　307万9千円

現在、市には14人の救急救命士がいます。平成15年度中に新たに1人を養成します。

高規格救急自動車の購入　2千174万円（うち道1千345万4千円）

登別温泉支署に配置している救急車を更新します。

犯罪のないまちを目指して

室蘭登別防犯協会連合会への助成　65万円

登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会への助成　50万円

社会を明るくする運動登別地区実施委員会負担金　18万円

登別地区保護司会への補助　25万円

交通安全対策

街路灯設置の補助　900万円

町内会が地域の安全を確保するために設置・改修する街路灯の工事費の3分の2以内を補助します。

道路反射鏡（カーブミラー）の設置　100万円

見通しの悪い交差点などに設置し、交通事故の防止を図ります。

照明灯の設置　100万円

交差点などの交通安全対策のため、幹線道路や通学路に照明灯を設置します。

交通安全の推進　178万円

幼稚園や学校、老人クラブなどでの交通安全教室や交通事故防止に務め、交通安全運動を通じ、市民の交通安全意識の高揚を図ります。

交通傷害保険　219万6千円

市民を対象に、少額な保険料で交通事故によるけがを保障します。

登別市交通安全協会交付金　450万円

美園57号線の歩道新設　2千万円

平成7年度から行っているJR室蘭本線沿い（若草町）の美園57号線の歩道新設工事を、平成15年度も引き続き行います。

市道の維持補修　1億3千886万9千円

市道の道路排水管の補修や側溝などの清掃、除雪、融雪剤散布、道路の白線設置などを行います。

安全な消費生活

消費者行政の推進　69万8千円

消費生活モニターを委嘱して、物価や量目の調査を行い、消費者の意識高揚を図ります。

登別消費者協会運営への助成　18万5千円

消費生活展開催への補助　30万円

商品の安全性やリサイクルなどを実演や展示で紹介し、正しい知識の普及や啓発を図る消費生活展を支援します。

法律相談の委託　37万8千円

交通事故や金銭貸借、損害賠償などの法律問題を解決するため、鉄南ふれあいセンターと弁護士事務所で弁護士による相談を行います。

・鉄南ふれあいセンターでの相談…月1回、定員6人

・弁護士事務所での相談…月6人

▼問い合わせ　市民課（☎㉟1855）

第3章

大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち

産業振興・観光・農業・林業・水産業・経済活性化

- 産業を担う人づくり
- 企業誘致の促進
- 世界が集い、世界が楽しむ北の観光拠点をつくる
- 海と大地の恵みを力に変える
- まちの経済活性化のために

産業を担う人づくり

事業所内職業訓練の助成　210万円

登別地方高等職業訓練校で行うパソコン教室や木造建築科をはじめとする6科目の訓練事業の助成を行います。

職業訓練センターの維持　13万4千円

中小企業相談事業への補助　900万円

商工業者の経営の安定化や健全化を目的とした登別商工会議所中小企業相談所の金融や経営などの相談事業を支援します。

労働対策　113万1千円

労働者や経営者を対象に労働対策講習会を開催し、雇用に関する知識習得の推進のほか、雇用状況の把握を行います。

雇用対策の救援　3千917万5千円

公共施設の清掃や通学路などの除雪作業を委託し、雇用の場の確保を図ります。

労働振興事業への助成　200万円

市内労働者の雇用の確保や職場環境の改善を目的に、活動する労働組合団体に対し、助成金を交付します。

勤労者特別融資積立金　7千200万円

市内に居住する勤労者の生活安定を目的に、生活などに必要な資金のあっせんを行うための貸付金を積み立てします。

新規高卒者のための企業見学会経費　18万5千円

厳しい就職状況におかれている新規高卒者の就職活動を支援するため、登別市・室蘭市・伊達市の3市が合同で管内の企業見学会を実施します。

起業化支援事業への補助　600万円

市内において、地域の資源や技術を活用した新たな地場産品の創出、新たな技術の事業化と新たなサービスの提供を行う起業家の事業を支援します。

労働福祉センターの運営管理　704万6千円

婦人センターの運営管理　906万8千円

緊急地域雇用対策　8千382万円（うち道8千382万円）

厳しい雇用情勢や失業対策として、次の7事業を実施し、雇用や就業機会の創出を図ります。

・**文書保存調査・整理事業…823万7千円**
市の保存文書のデータベース化を行います。

・**高度情報化推進事業…636万3千円**
中小企業経営者や開業を目指す方を対象にe-ビジネス構築に向けた研修や講習会を実施します。

・**観光関連アウトドア施設整備事業…866万2千円**
観光客が楽しめる安全で安心なアウトドア施設などの整備を行います。

・**観光情報発信（外国語版）事業…1千63万7千円**
外国人観光客の増加につなげるため、外国語（英語・韓国語・中国語）のホームページ開設と対応マニュアルを作成します。

・**学校図書館わくわく事業…1千466万5千円**
各小学校に図書館指導員を配置し、図書の貸し出しや各種資料の収集整理などを実施します。

・**失業者再就職・起業家促進事業…2千38万円**
長期失業者を対象に公共施設の景観美化に係る整備事業を行うとともに、技能習得を図り、失業者の中から起業化を目指す人材を育成します。

・**若年未就職者スキルアップ事業…1千487万6千円**
若年未就職者を対象に学校図書館の蔵書データベース化入力実務研修を実施するとともに、指導者を活用したOJT（職場内研修）を実施し、早期就職を促進します。

企業誘致の促進

企業誘致の推進　70万4千円

市内経済の活性化を図るため、製造業や観光産業の企業誘致を図り、市内産業の厚みを増し、雇用の場の確保を図ります。

企業立地振興への補助　91万2千円

誘致促進と誘致した企業の活性化を図るため、新たに事業所を設ける誘致企業やすでに誘致した企業が設備を増設・雇用増をする際に、補助金を交付します。

▼問い合わせ　商工労政課（☎㉟2171）

世界が集い、世界が楽しむ北の観光拠点をつくる

登別を名実ともに道内における中心的な観光拠点として確立するため、観光を取り巻く新たな潮流を敏感に察知し、新しい時代のニーズに対応できる観光地づくりを進めるとともに魅力あるイベントの創出など観光ソフトの充実に努め、市民にとって住みよいまちであることが、訪れる人にとっても魅力的なまちであることを基本に個性的な観光地づくりを進めます。

観光開発基金への積み立て　1千万円

観光産業の振興を図るため、積み立てします。

登別観光協会への助成　1千250万円

登別観光協会が行う国内外の誘客宣伝や修学旅行誘致道外キャンペーン、『登別地獄まつり』などの事業を支援します。

観光振興特別対策事業への補助　6千万円

カルルス・サン・スポーツランドの運営管理　229万3千円

観光客誘致の促進　619万2千円

観光客誘致に係る各種イベントへの参加やパンフレット、リーフレットの作成などを行い、登別の観光を広く周知することで観光客の増加を図ります。

友好交流促進都市推進　118万7千円

中国・広州市と友好交流を促進し、地域レベルでの日中の友好親善を深めるとともに、観光振興を図ります。

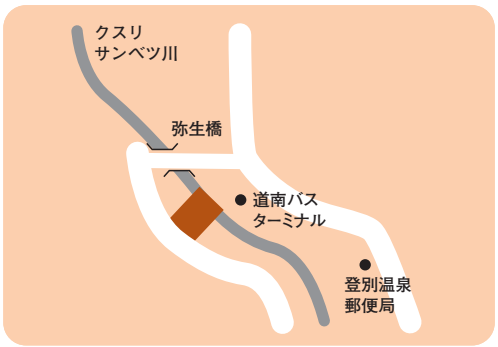
観光ホスピタリティ推進への補助　100万円

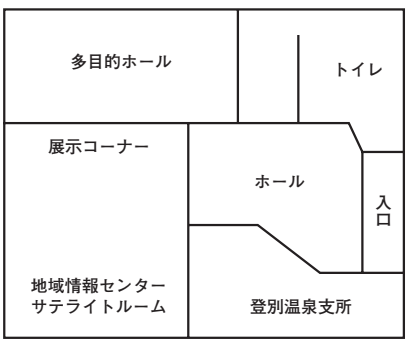
観光ボランティアガイドの養成や郷土料理、土産品の研究などの活動を支援します。

（仮称）登別温泉ふれあいセンターの整備　1千89万円
維持管理　922万円

旧温泉科学館を改修し、市民の生活文化の振興と住民福祉の増進を図ります。

同センターには、登別温泉支所や観光資料の展示、地域情報センターサテライトルーム、多目的ホール、図書館機能を備えるとともに、床を平らにし、オストメイト対応用トイレを設置します。オープンは、8月上旬を予定としています。





海と大地の恵みを力に変える

【農業の振興】

農村振興実施計画の作成　15万円

平成14年度に作成した農村振興基本計画を受け、今年度は具体の施策を盛り込むための実施計画を作成します。

農業用施設の管理　51万円

農業用排水路などの施設の補修などを行います。

道営草地整備改良　225万円

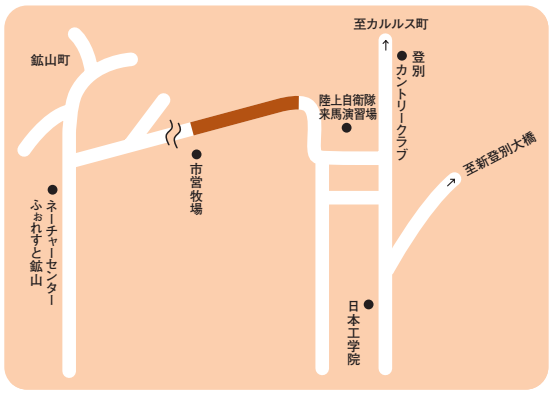
※平成15年度の全体事業費1千万円のうち、国が500万円、道が275万円、市が225万円を負担。

家畜の飼料となる草地を栄養分豊富な牧草地へ改良するほか、パドック（家畜の運動場）の新設などを行い、農業生産の向上を図ります。

来馬第1地区道営農免農道の整備（第2期）　338万円

※平成15年度の全体事業費1千500万円のうち、国が825万円、道が337万円、市が338万円を負担。

来馬地区の交通の利便性などを図るため、道路新設などの整備を行います。



市牧場管理　260万円

草地不足の酪農家の育成牛などを市牧場（鉱山町）で預託することにより、飼養管理や労働の省力化を図ります。

札内高原館の運営管理　1千108万7千円

コミュニティの場としての活用を図るとともに、社会教育施設として『体験学習』を引き続き行います。

登別農業振興研究会への補助　20万円

乳質改善事業への補助　10万円

胆振西部乳牛検定組合への補助　45万円

受精卵移植推進協議会への補助　45万円

乳牛や肉牛への受精卵移植の研究や受精卵移植技術者の養成などの支援を行います。

酪農ヘルパー運営への補助　72万円

酪農ヘルパーの導入で酪農者の休暇の取得などを図り、酪農経営の安定や廃業の防止、後継者の育成を促進します。

農畜産物加工研究事業への補助　526万6千円

地場産品の付加価値を高めるため、農畜産物の加工研究を行います。

【林業の振興】

林業構造の改善（市町村推進事業）　86万4千円（うち国43万2千円）

森林の保全を含めた自然との共生を図るため、パンフレットを作成するとともに、市民を対象に自然環境セミナーを開催します。

【水産業の振興】

漁場改良への補助（ヒトデなどの大規模駆除）　100万円

ほっき貝の害敵であるヒトデとタマ貝の駆除を行います。

エゾバフンウニ種苗放流事業への補助　100万円

資源づくり事業を推進するため、エゾバフンウニの種苗を中間育成し、そ

の後、放流する登別漁業協同組合に対し補助を行います。

先進漁港調査研究事業への補助　52万6千円

登別漁港整備に伴い、海洋レクリエーションと漁業の調和を図っている先進漁港の実態を視察し、多目的利用が可能な漁港施設の整備に役立てます。

鉱山養魚池の改修　150万円（うち、市負担37万5千円、登別漁業協同組合負担112万5千円）

さけ・ます孵化放流事業の稚魚の二次飼育を実施している鉱山養魚池の排水溝の一部を改修し、水位調整を可能にします。

登別救難所事業運営への補助　25万円

海難事故が発生した場合の救助や救助に備えた訓練などの活動を支援します。

登別漁港維持管理事業への補助　33万6千円（うち道33万6千円）

登別漁港の軽易な維持管理と港内照明灯電気料金を補助します。

鷲別漁港維持管理事業への補助　10万4千円（うち道3万9千円）

鷲別漁港内の照明灯電気料金を補助します。

まちの経済活性化のために

中小企業特別融資の利子の補給　32万5千円

中小企業特別融資制度の一部の資金を利用した方の負担軽減を図るため、借入金の利子分を市が負担します。

中小企業特別融資の積み立て　3億3千700万円

中小企業者の資金調達の円滑化や資金確保の環境づくりを進めるため、融資を行います。

金融緊急対策信用保証料の補給　141万4千円

信用保証が必要な市の融資制度を利用する中小企業者の負担を軽減するため、その保証料を補助します。

住宅改良促進特別融資の積み立て　1億5千万円

マイホームの小規模改修や、障害のある方・高齢者が暮らしやすいバリアフリー住宅への改良を促進するとともに、市内業者の事業量の確保を図るため、低利の融資を行います。

中小企業振興事業への助成　13万円

企業体質の強化や経営の安定化を図るため、中小商工業者が集まって協同組合や企業組合などの中小企業団体を組織した団体へ助成金を交付します。

新産業創造活動事業への補助　90万円

地域の特性や技術などを活用した新技術、新製品、新サービスなどの研究・開発事業を行う団体などを支援し、複合産業の基盤をつくります。

物産展参加のための補助　70万円

地場産品の紹介や宣伝、販路拡大のため、姉妹都市白石市の農業祭や各都市で開催されるイベントなどへ参加する物産会参加企業（22社）を支援します。

第4章

調和の中でふるさとを演出するまち

交通・情報・都市景観・
市街地整備・公営住宅・
上水道・公園

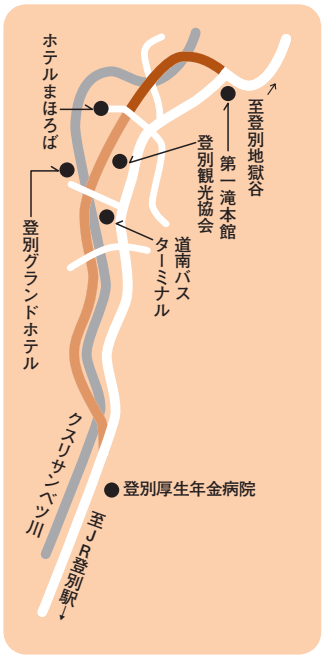
- 機能的な交通・情報ネットワークで活力とふれあいを運ぶ
- 交通輸送体系の整備
- 情報・通信体制の整備
- 情報化の推進
- 美しい都市景観の創造
- 住みよい市街地の整備と宅地・住宅の確保
- 水道事業などの推進
- 公園の整備

機能的な交通・情報ネットワークで活力とふれあいを運ぶ

※道路整備では、総額６億350万円の市債を借り入れて実施。このうち、４億８千770万円についてはその元利償還金の30％、残りの１千950万円については50％が後年度、普通交付税で市に交付されます。

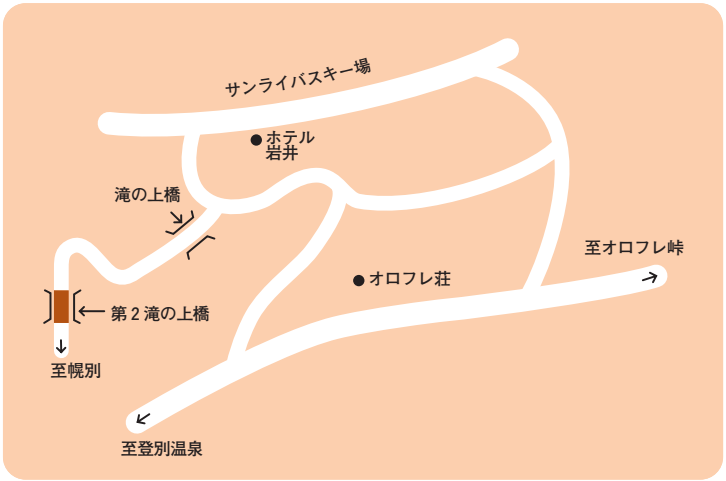
登別温泉バイパス（道道倶多楽湖公園線）の整備（北海道事業）15億円（うち道14億９千900万円）

平成14年度から、ホテルまほろば付近から第一滝本館付近までの用地買収と移転補償などを行っています。



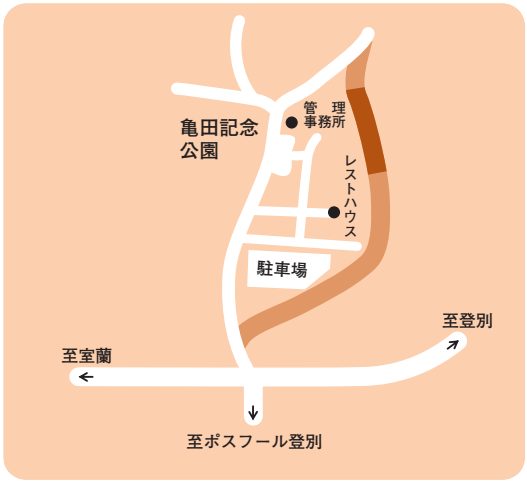
カルルス路線の改良　７千530万円（うち国４千500万円）

カルルス町付近に架かる『第２滝の上橋』の整備などを行います（延長30㍍、幅員７・５㍍）。



富岸西路線の改良　1億1千530万円（うち国6千900万円）

亀田記念公園内の西富岸川に架かる『富岸西路線2号橋』（延長19・6メートル、幅員7・5メートル＋2・5メートル）の整備などを行います。

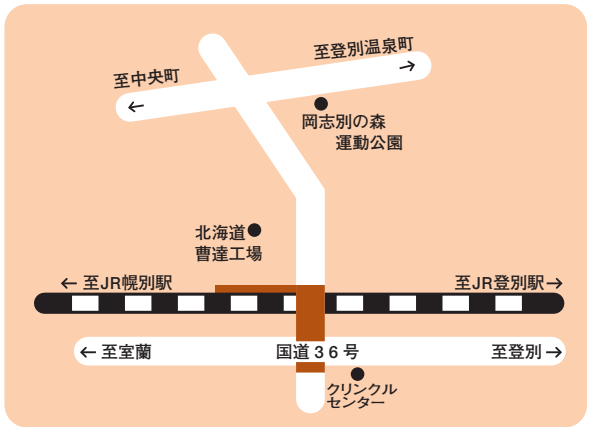


東札内線の改良　1千300万円

富浦墓地から札内町への道路の一部（延長40メートル、幅員7・5メートル）の改良舗装を行います。

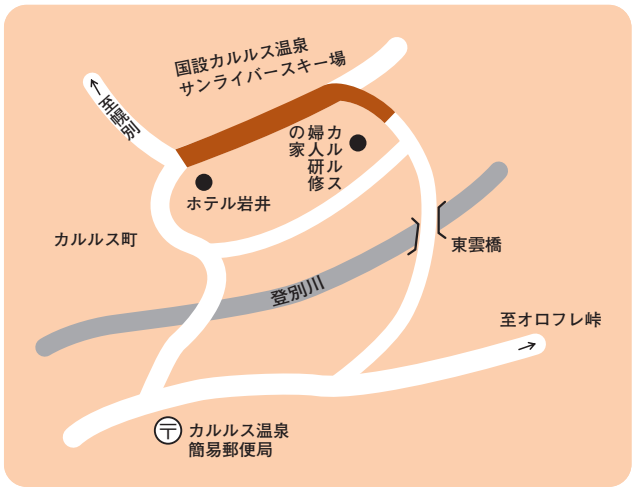
中央通りの改良　2億5千350万円（うち国1億2千960万円）

国道36号からJR踏切までの道路改良（延長140メートル、幅員16メートル）や踏切改良（延長12メートル、幅員16メートル）・排水（延長80メートル）の整備を昨年に引き続き行います。



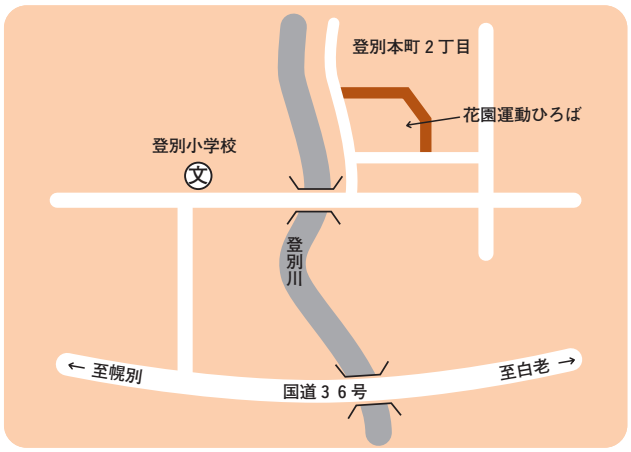
カルルス東雲（しののめ）線外１の改良　１千235万２千円（うち国903万９千円）

カルルス婦人研修の家からホテル岩井付近の道路の一部（延長300メートル、幅員７・５メートル）の改良・舗装を平成15・16年度の２カ年で行います。



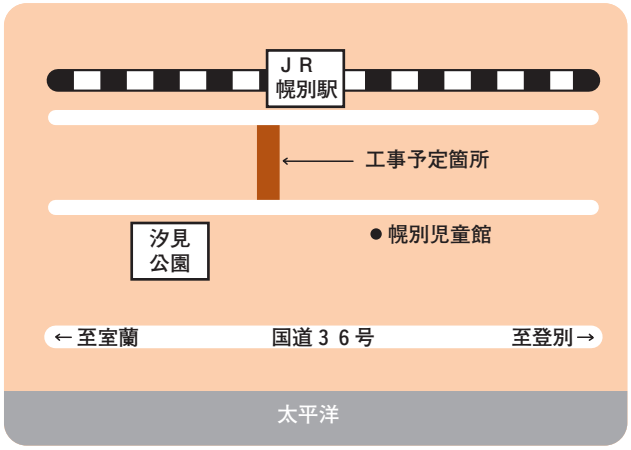
登別６号線の改良　４千600万円

登別本町２丁目の花園運動ひろば付近の道路の一部（延長134メートル、幅員８～10メートル）の改良舗装や用地買収などを行います。



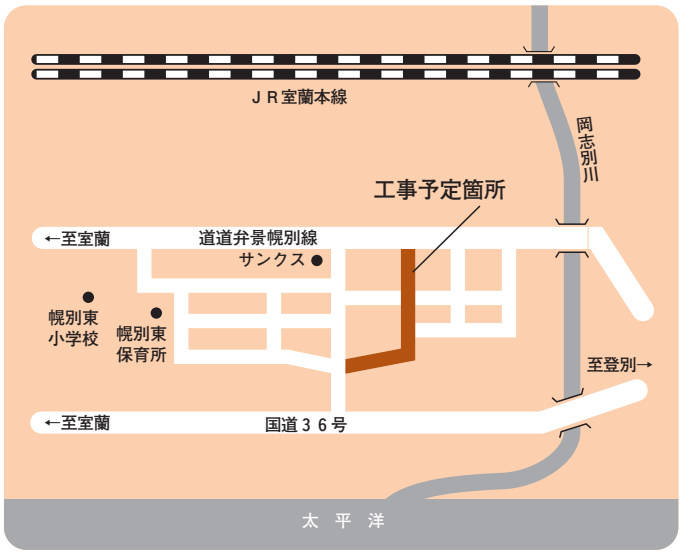
幌別22号線の改良　１千400万円

幌別駅東口前の道路の一部（延長46メートル、幅員13メートル）の改良舗装を行います。



幌別25号線の改良（地方改善施設整備）　2千100万円（うち国1千50万円）

幌別東団地から道道弁景幌別線に通じる道路の改良舗装の整備を行います。



市道舗装排水整備　2億8千600万円

市道の改良・舗装や排水整備を行います。

橋梁の維持補修　356万円

橋の補修工事などを行います。

交通輸送体系の整備

地方生活バス路線維持費への補助　838万8千円

市民生活に必要なバス路線の維持が自家用車の普及により困難になっていることから、国や北海道と適切な役割分担を図りながら、乗合バス事業者に対して補助金を交付し、バス路線を維持します。

鉱山地域住民タクシー助成　81万5千円

鉱山地域住民の交通の便を確保するため、タクシー料金の一部を助成します。

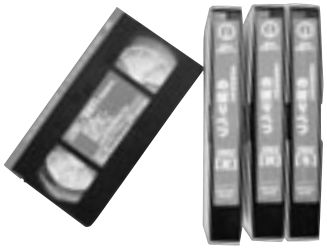
情報・通信体制の整備

広報広聴活動　2千288万3千円

・広報のぼりべつの発行…市の財政状況や行おうとする事業・プロジェクト、直面している課題などについて、写真や図などを用いて分かりやすく紹介する特集を組むほか、活躍している市民や催し、お知らせ、募集などを掲載した広報紙を毎月1日に発行します。

・**ふるさと通信『湯かげん』の発行**…首都圏在住の登別市出身者やゆかりのある方を対象に、ふるさと『のぼりべつ』の近況などをお知らせする『湯かげん』を発行します。

・**広報ビデオの制作**…市内で行われる行事や事業などを季節ごとにまとめた広報ビデオなどを制作し、市内の公共施設で随時放映するほか、申込者に貸し出しします。



・**各種懇談会の開催**…市が直面している問題や地域問題などについて、連合町内会単位で市長をはじめ、市の部長職などと話し合う『市政懇談会』や『地区懇談会』を開催するほか、まちづくりなどについて市長とひざを交えて話し合う『市長室フリータイム』、グループ単位で市長と懇談する『ふれあい懇談会』、市職員が地域の抱える問題を町内会単位できめ細かくお聞きする『地区課題の把握』、市職員が市の事業や制度について分かりやすく紹介する『市職員出前フリートーク』を開催し、情報の共有化と意見・提案の集約を図ります。

・**見学会の開催**…市民や市内の団体を対象に、公共施設やまちの産業などを見学する『市民見学会』を春と秋の年2回開催するほか、室蘭・伊達市と共同でそれぞれの市の公共施設や産業などを見学する『三市合同施設見学会』を年1回開催します。

▲市民見学会

▲地区懇談会

まちづくりカタログの発行　473万7千円

市政情報の根幹である予算を基本に、市がどのような事業に取り組んでいるのかを総合的にお知らせする『まちづくりカタログ』（みなさんが今見ているこの冊子です）を発行します。

▼問い合わせ　情報推進課（広報広聴）（☎㉟6586）

登別市ホームページの充実

ホームページを活用して市政情報の受発信機能を高めます。

▼ホームページアドレス
http://www.city.noboribetsu.hokkaido.jp

▲登別市ホームページのトップページ

情報化の推進

OA化の推進（市役所業務）　2千146万8千円

市庁舎事務所内にパソコンなどを計画的に設置し、コンピュータネットワークなどの情報通信技術を事務に取り入れて、事務の効率化・高度化を図ります。

財務会計システムの管理　448万6千円

市の予算の歳入や歳出などをコンピュータで管理し、財務会計事務処理の効率化・省力化・迅速化を進めます。

行政事務のコンピュータ処理に要する経費　5千402万4千円

住民記録や印鑑登録、税、国民年金、国民健康保険、介護保険、児童手当、し尿処理手数料、上下水道料金などの事務をコンピュータで処理し、行政事務の効率化・迅速化を図ります。

地域情報センターの運営　979万4千円

登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置した地域情報センター（愛称『ｐｉｐ（ピッピ）』）は、インターネット接続や各種アプリケーションソフト、映像装置を設置するなど市民が情報通信技術に親しめる拠点です。

本年度は市民が気軽にパソコンに親しめるよう、各種パソコン講座を開催します。

・地域情報センター事業費…28万2千円
・地域情報センター維持管理経費…951万2千円

▲パソコン講習会

▲地域情報センター受付

総合行政ネットワークの整備　１千70万円

全国の地方自治体を相互に接続することで、電子自治体推進のための情報基盤として活用するとともに、地方公共団体相互や国の各府省、住民などとの情報交換・共有による事務の効率化と住民サービスの向上を図ります。

地域イントラネットの維持管理　２千46万５千円

市内小・中学校や市役所などの公共施設37カ所を結ぶ光ファイバーネットワーク機材などの保守と、適切な運用を図ります。

住民基本台帳ネットワークシステムの構築　１千692万２千円

住民基本台帳のネットワーク化を図り、市民が全国どこでも住民票の写しの交付と転入転出の特例が受けられるシステムの構築を行います。

戸籍や住民票などの交付　610万５千円

戸籍や住民票、印鑑登録の交付などを行います。

テレビジョン中継局の維持管理　251万円

テレビの難視聴を解消するために、鷲別・幌別・登別の３カ所に設置したテレビジョン中継局の保守点検や補修などを行います。

美しい都市景観の創造

まちづくりアクションプランの推進　160万円

都市づくりを進める上で互いに密接な関係にある３つの計画、土地利用や交通施設、公共施設の在り方を盛り込んだ『都市計画マスタープラン』、まち並みや自然景観の形成などの方向性を示した『景観形成基本計画』、みどりの保全や緑化推進、公園や広場の整

▲幌別テレビジョン中継局（中央町３丁目）

備に関する指針となる『みどりの基本計画』を総称する『まちづくりアクションプラン』。

同プランは、将来の都市づくりについて多くの市民の参画を得ながら、昨年度計画をとりまとめました。

本年度は、同プランの概要パンフレットを作成します。

都市計画審議会の運営　23万4千円

市が行う都市計画決定や都市計画に関する事項の調査審議を行います。委員は市民や学識経験者など12人が委嘱されています。

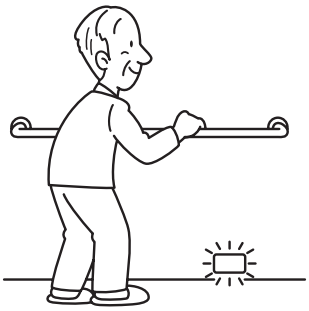
住みよい市街地の整備と宅地・住宅の確保

地籍調査　303万4千円（うち道119万2千円）

市内の土地について、所有者や地番、地目の調査・測量を行い、地図などを作成します。

高齢者などに配慮した市営住宅改善　225万円

市営住宅に居住する高齢者や身体に障害のある方が、日常生活を過ごしやすいよう住宅内の段差解消や玄関・トイレ・浴室への手すり取り付けなどの改善を行います。



公営住宅の常時補修　1億21万3千円

修繕などが必要な公営住宅の補修を行います。

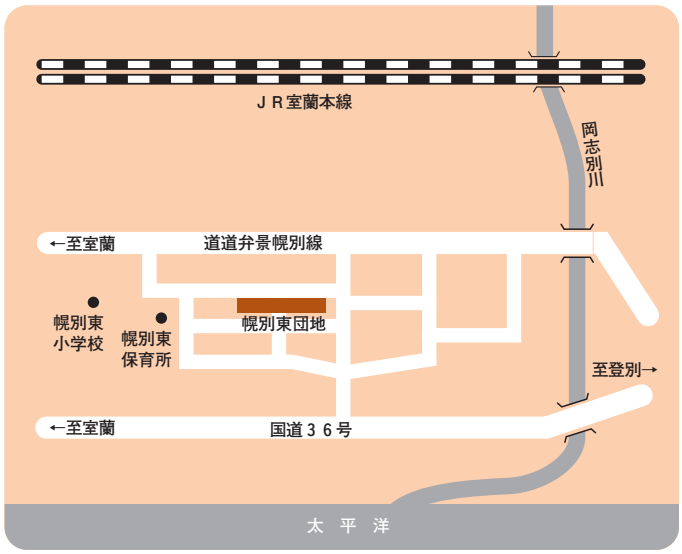
道営住宅1千678万3千円
市営住宅8千343万円

市営住宅（幌別東団地）の建て替え　4千174万円（うち国2千86万6千円）

市営住宅ストック総合活用計画に基づいて、本年度は、幌別東団地の建て替えとして実施設計や地質調査、移転助成を行います。

また、現在8棟32戸ある住宅のうち平成16年度に4棟16戸を解体し、平成16・17年度で1棟20戸（エレベーター付き）の住宅に建て替えします。

平成17年度で残りの4棟16戸を解体し、平成18・19年度に1棟24戸の住宅に建て替えする予定です。



水道事業などの推進

水道事業の運営
（人件費２億１千111万６千円）

水道施設の整備　４億８千276万３千円

老朽化した配水管の整備（改良、移設など）や配水池の建設のほか、水道メーターの購入や取り替え工事などを行います。

・送配水施設の整備…３億８千400万円
・浄水施設・水道メーター設備…９千876万３千円

原水・浄水に係る施設の維持管理
２億３千561万９千円

室蘭市から浄水を購入するほか、浄水場の補修などを行います。

配水施設・給水装置の維持管理
３千475万３千円

配水池や配水管、ポンプ設備などの管内漏水修繕などを行います。

消火栓の新設などの受託工事　１千556万円

市消防本部などからの依頼により消火栓の新設・修繕工事や給・配水管の漏水修繕などの工事を行います。

水道メーター検針と料金徴収　１千569万９千円

簡易水道施設の管理　２千990万１千円（うち道160万円）

札内地区を中心とした給水区域内の方に、良質な水を安定供給するため、減圧弁の取り替えや浄水場ろ過池の清掃などを行います。

公園の整備

公園の再整備　6千81万6千円

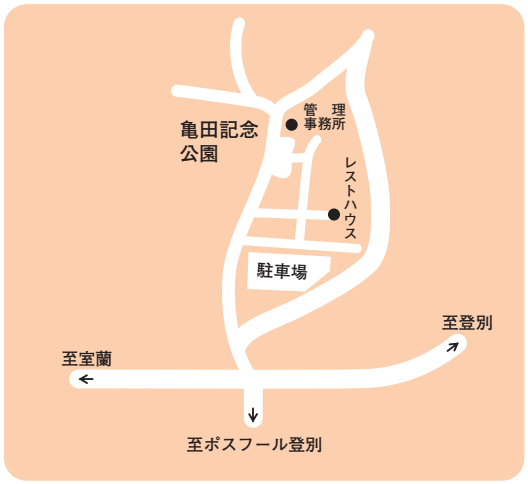
地域住民参加のもと、使いやすく親しみやすい公園づくりを行います。

・若草公園の便所建替及び水洗化…1千650万円

※1千230万円の市債を借り入れて実施。この市債にかかる元利償還金の30パーセントが後年度、普通交付税で国から市に交付されます。

・亀田記念公園の整備…4千431万6千円

オストメイト対応便所を新設するとともに、売店や倉庫、管理事務所の改修のほか、外構工事などを行います。



公園の維持管理　1億37万4千円

川上公園や亀田記念公園、富岸公園など、市内の117カ所の公園や広場の遊具、照明灯、水道施設などを維持管理します。

街区公園などの清掃　71万円

清掃や草刈りなど、公園や広場の維持管理業務の一部を町内会に協力していただき、交付金を交付します。

▼問い合わせ　都市計画課（☎㉟4115）

第5章

豊かな個性と人間性をはぐくむまち

生涯学習・幼児教育・小中学校教育・特殊教育・高等教育・学習機会・文化活動・スポーツ・図書館

- 生涯学習社会の実現を目指して
- 幼児教育の充実
- 小・中学校教育の充実
- 学習環境の整備充実
- 学校給食事業
- 高校教育の充実
- 生涯学習の推進
- 生涯学習諸条件の整備
- 個性豊かなふるさとの文化をつくる
- 生涯スポーツと競技スポーツの振興
- スポーツ施設の整備充実
- 生涯学習を支える図書館機能を高める

生涯学習社会の実現を目指して

生涯学習の推進　201万7千円

市民が生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を目指します。

・**生涯学習情報の提供**…市内で取り組まれている生涯学習の情報などを掲載した生涯学習ニュース『明日をひらく窓』を年1回発行して各戸配布するほか、同紙の家庭版を年4回発行し、幼稚園児や小・中学生のいる家庭へ配布します。

・**生涯学習推進協議会の運営**…学識経験者や各種団体の代表など16人で構成され、市が行う生涯学習活動に対して意見をいただきます。

また、市などが行う生涯学習活動の予定を掲載した『生涯学習ガイド』などを年6回発行するほか、市内で活躍している各種サークルなどを地区別に紹介する『生涯学習へのお誘い』を年1回発行します。

ときめき大学の運営　292万6千円

60歳以上の市民を対象に、親ぼくを図り、生きがいのある人生観を持つことを目的にさまざまな知識や教養を身に付け、地域社会に役立てていただくため『ときめき大学』を開設しています。平成14年度の学生数は551人。

婦人短期大学の運営　101万円

女性が生きがいのある豊かな人生を築くための教養を深め、その知識を社会に役立ててもらうため『婦人短期大学』を開設しています。平成14年度の学生数は197人。

家庭教育学級の運営　78万6千円

家庭での教育力向上のため、幼稚園児や小学生をもつ親が自主企画して行われる、子育てに関する学習会などを支援します。4月現在、14学級（幼稚園5、小学校9）。

ふるさと学習推進事業への補助　120万円

ふるさとふれあい農園や地引網体験、ジャンボかぼちゃコンテストなど、ふるさと学習事業を展開する『ふるさと広場実行委員会』に補助金を交付します。

市民マイプラン講座　30万円

団体やサークルなどが自主的に行う学習会を支援します。

▼**問い合わせ**　社会教育課（☎㊽1129）

幼児教育の充実

市立幼稚園の運営　6千496万9千円

※運営経費のうち人件費5千538万7千円。

登別温泉幼稚園や富士幼稚園を運営管理し、幼稚園教育を行います。

私立幼稚園就園奨励のための補助　3千471万7千円（うち国983万6千円）

私立幼稚園に通園する園児の保護者の保育料負担の軽減を図るため、市民税の所得割課税額が10万2千100円以下の世帯へ補助金を交付します。

・第1子は、5万6千500円から13万7千700円まで。
・第2子は、12万4千円から18万円まで。
・第3子以降は、19万円から22万2千円まで。

私立幼稚園特別就園奨励のための補助　580万円

私立幼稚園に通園する園児の保護者の負担の軽減を図るため、入園時に2万円の補助金を交付します。

私立幼稚園教材教具整備への補助　228万円

市内の私立幼稚園に対し、教材教具の購入資金の一部を補助し、教育内容の充実を図ります。

私立幼稚園協会教職員研修への補助　100万円

『登別市私立幼稚園協会』教職員の研修費の一部を補助し、資質の向上を図ります。

私立幼稚園学校給食の指導　56万8千円

市内の公・私立幼稚園入園の5歳児を対象とし、10日間程度学校給食指導を行います。

小・中学校教育の充実

小・中学校情報教育の推進　3千969万8千円

情報教育の共同研究　80万円

遠隔地授業などによる情報ネットの構築や教材などのソフトを共同開発します。

小学校教育の推進　8千708万6千円（うち国50万円）

市内9校を運営管理し、小学校教育を行います。

中学校教育の推進　6千957万7千円（うち国50万円）

市内6校を運営管理し、中学校教育を行います。

特色ある学校づくりの推進　851万円

・**登別温泉入浴体験**…市内小学3年生を対象に、登別温泉入浴体験をします。
・**総合的な学習活動の研究推進**…自由な学習環境の中で学ぶ総合学習の推進を図ります。
・**生活科の実施**…児童の健やかな成長をはぐくむため、小動物の飼育や学校菜園を通して、命の尊さや自然に親しむ心を育てます。

▲『総合的な学習の時間』に行われたコンピュータ学習（登別温泉小学校）

開かれた学校づくりの推進　203万9千円

学校が地域住民の信頼に応え、家庭や地域が連携協力して教育活動を展開するため、学校を開かれたものにし、学校の経営責任を明確にします。

外国人英語指導助手の活用（中学校）　658万円

生きた英語を指導する外国人英語指導助手（ＡＥＴ）を活用し、英語を使ったコミュニケーション能力の育成などを図ります。

心の教室相談員の活用調査研究　163万5千円（うち国128万2千円）

生徒たちの不安やストレスなどを和らげ、心のゆとりを持てるよう、友人関係や進路、親子関係、登校拒否などについての相談を相談員が受けます。

スクールカウンセラーの活用　44万9千円

小・中学校におけるいじめや不登校などの問題行動の対応について臨床心理士などの専門家を学校に配置し、児童・生徒へのカウンセリング体制の充実を図ります。

中学校体育連盟への助成　146万円

少年の主張大会の開催（中学校）　4万8千円

子どもたちの日常生活の体験や、日ごろ考えていることを広く訴えます。
平成15年度は6月10日㈫に鷲別中学校を会場に開催します。

小学校合同芸術祭・中学校音楽祭の開催　99万6千円

・**登別市内小学校合同芸術祭**…市民会館大ホールを会場に、市内小学校9校の児童が、マーチングバンドや器楽、合唱、踊りなど、日ごろの練習の成果を発表します。10月31日㈭開催予定。
・**登別市中学校音楽祭**…市民会館大ホールを会場に、6中学校の代表クラスや合唱部、吹奏楽部、マンドリンギター部などの生徒が、合唱や合奏など、日ごろの練習の成果を披露します。10月1日㈬開催予定。

PTA連合会への助成　33万円

不登校やいじめなどへの対策（幼稚園、小・中学校）　24万1千円

・**教育相談・いじめ相談**…専門相談員を2人配置し、電話や来室による相談を受けます。（月～金曜日の9時～17時）
・**不登校・いじめ等対策会議**…校長会や教頭会の代表、小・中学校教諭、教育委員会（補導センター含む）など33人で構成される同会議を年2回開催します。
・**学校訪問や実態調査の実施**
・**『いじめ学習資料』の配布**…小学5年生～中学3年生。
・**保護者向け資料『手をつなぐ親と子』の発行**…幼稚園や小・中学校の家庭を対象に年3回発行。
・**教職員（幼稚園、小・中学校）を対象とした研修会**…年2回開催。
・**不登校児童生徒をかかえる父母懇談会**…毎月第2火曜日
・**ふれあいサポート懇談会**…指導体制・実態についての情報交流や、自然体験学習・宿泊交流学習の実施についての協議を行う同懇談会を年3回開催（予定）。また、各中学校区の地区別交流会を年2回開催。

・登別市小・中・高等学校合同生徒指導担当者（部長）連絡会議…年2回開催。
・登別市小学校及び中学校生徒指導担当者（部長）連絡会議…小・中学校それぞれ年3回開催。
・登別市中学校・高等学校合同生徒指導担当者（部長）連絡会議…年3回開催。

子ども地域交流プラザの実施　128万9千円

平成14年度から学校週5日制が完全実施されたため、地域に根ざした活動を充実発展させ、地域社会・学校・家庭が一体となった運営体制を確立できるよう『子ども地域交流プラザ運営委員会』を中心に、『ふれあい農園』を継続して行うほか、さまざまな事業を各中学校区で展開します。

・子ども地域交流プラザ運営委員会…校長会や各中学校区・札内来馬地区運営委員、登別市子ども会育成連絡協議会、PTA連合会、社会教育委員、学識経験者など16人で構成される同委員会を運営します。
・各中学校区・札内来馬地区運営委員会（7地区）…地域の特性を生かした事業計画を立案し、地域の連携協力のもと、各種事業を行います。
・学校施設の開放…8月と1月を除く各月の第2土曜日に、学校施設（主に体育館）を開放します。
・『ふるさとYou・遊ガイド』の発行…市内の名所や史跡、公共施設などを紹介した同ガイドを小学1年生全員に配布します。

児童生徒遠距離通学費の補助（小・中学校）　300万円

バス通学する小・中学生の保護者の経済的負担の軽減を図るため、補助金を交付します。

スクールバスの運行（小・中学校）　461万6千円

札内町と来馬町に居住し、幌別小学校と幌別中学校に通学する児童生徒や学校行事に参加する地域住民を送迎するため、スクールバスを運行します。

▲スクールバス『ぽんとこ号』

特殊教育就学奨励費（小・中学校）150万3千円（うち国75万1千円）

特殊学級に就学している児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な費用を援助します。

言語通級指導教室の運営　36万3千円

ことばの障害がある子どもたちに必要な教育を行います。

邦学学習モデル事業　95万円

和楽器を通じて日本古来の文化・芸術を身につけさせます。

・モデル校…西陵中学校・鷲別中学校

学習環境の整備充実

富岸小学校の整備　680万円

受水槽高架水槽の内部の改修などを行います。

登別小学校の整備　140万円

グラウンドの整備を行います。

登別温泉小学校の整備　150万円

校舎内外部の老朽化が著しいため、校舎の内部壁などの補修工事を行い、耐久性の向上と教育環境の改善を図ります。

学校放送設備（小・中）の整備200万円

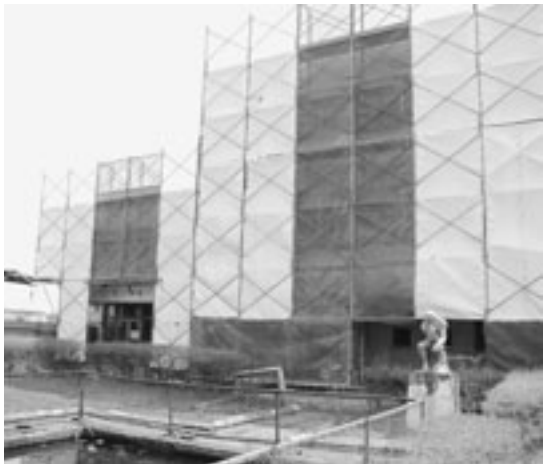
小・中学校の放送設備で老朽化しているものを計画的に更新し、学校運営の充実を図ります。平成15年度は、富岸小学校と緑陽中学校の更新を行います。

教育施設（鷲別小）の水洗化　600万円

若草小学校の大規模改造　5億7千964万2千円（うち国（繰越分）1億4千388万6千円・平成14年度からの繰越額5億7千964万2千円）

※平成14年度の国の補正予算に対応し、4億4千710万円の市債を借り入れて実施。このうち2億7千690万円については元利償還金の100パーセントが後年度、普通交付税で国から市に交付されます。

若草小学校の大規模改造は、平成14年度から繰り越された事業で、体育館と校舎の一部の屋根、外壁、床、壁、天井、建具、電気設備、給排水設備の改修を行います。



学校給食事業

給食賄原材料費　2億1千609万8千円

小・中学校や保育所、幼稚園、教職員などが負担する給食費で、子どもたちの栄養を満たすことができるおいしい給食を提供します。

給食センターフードスライサーの更新　300万円

学校給食センターの運営管理　1億2千949万7千円

※運営管理経費のうち人件費7千705万6千円。

学校給食センター運営委員会の運営　13万2千円

教育関係者や学識経験者など10人からなる同運営委員会から、学校給食共同調理場の運営に関する審議や調査・研究・助言などをいただきます。

▼問い合わせ　学校給食センター（☎㊺2723）

高校教育の充実

私立高等学校教育振興の補助　890万円

生涯学習の推進

【青少年育成】

青少年の非行防止　162万9千円

青少年の非行防止を図るため、補導センターや青少年問題推進協議会を運営し、専任補導員や補導委員による巡回、育成だよりの発行などを行います。

青少年健全育成講演会の開催　4万9千円

全国青少年健全育成強調月間事業の一環として、少年の非行防止をテーマにした講演会の開催を11月上旬に予定しています。

青少年会館の運営管理　1千889万円

青少年会館4館の運営管理を行い、学習活動やサークル活動などの推進を図ります。

▼問い合わせ　社会教育課（☎㊽1129）

青少年会館名	所在地・電話番号
登別市青少年会館	中央町5丁目21－12（☎㊻3107）
登別東青少年会館	登別本町1丁目18－4（☎㊸3399）
富岸青少年会館	富岸町2丁目23－15（☎㊻2449）
鷲別青少年会館	鷲別町4丁目36－38（☎㊻6515）

生涯学習青年リーダーの育成　45万円

市内に居住するおおむね40歳までの成人で、地域で生涯学習の指導に携わっている方、または今後取り組む意思のある方を対象に、団体活動や学習活動などを通じ、生涯学習の推進を支えるリーダーを養成します。

室蘭・登別少年を守る会への補助　3万円

ボーイスカウト登別第1団運営への補助　4万円

成人祭の開催　126万9千円

登別市成人祭実行委員会の主催により、成人祭を開催します。平成15年度は、平成16年1月11日㈰に開催を予定。

子ども会活動への助成　165万円

登別市子ども会育成連絡協議会が開催する『こいのぼりマラソン大会』や『かるた大会』などの活動を支援します。

生涯学習諸条件の整備

婦人研修の家の維持・補修　56万4千円

婦人研修の家名	所在地・電話番号
カルルス婦人研修の家	カルルス町27－1（☎84）2172）
常盤婦人研修の家	常盤町2丁目34－1（☎85）8039）
柏木婦人研修の家	柏木町4丁目24－8（☎85）1079）
桜木婦人研修の家	桜木町2丁目15－17（☎85）1244）
新川婦人研修の家	新川町4丁目15－11（☎85）8037）
栄婦人研修の家	栄町2丁目7－5（☎86）9918）
美園婦人研修の家	美園町4丁目8－9（☎86）6975）
若草婦人研修の家	若草町2丁目2－7（☎86）9919）

公民館の運営管理　1千298万1千円

公民館名	所在地・電話番号
登別温泉公民館	登別温泉町17（☎84）3365）
登別公民館	登別東町2丁目21－1（☎83）3265）
鷲別公民館	鷲別町3丁目3－4（☎86）8823）

公民館事業の推進　87万8千円

地域文化を高めるための講座や講演会、講習会などを行う『公民館講座』を開催します。

▼問い合わせ　社会教育課（☎88）1129）

▶小学生を対象に行われる公民館講座『さかな博士教室』（登別マリンパークニクス）

個性豊かなふるさとの文化をつくる

財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の運営　2千498万1千円

文化・スポーツ振興財団の運営や同財団が行う事業を補助します。

◆主な内訳
・財団法人登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金…889万3千円
・財団法人登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金…1千608万8千円

表別紙

▼問い合わせ　文化・スポーツ振興財団（☎88）1116）

▲市民スポーツフェスティバル

▼親子料理教室

文化振興事業…事業費 17,646,000 円（うち市補助金7,607,000円）

事業名	期日	時間	対象	場所	募集定員	受講・参加料
カメラ（写真）撮影教室	5月18日(日)・25日(日)	10:00～12:00	一般	郷土資料館	20人	300円
ビデオ撮影教室	5月11日(日)	9:00～16:00	一般	市民会館	20人	200円
初心者英会話教室 登別地区	6月2日(月)～16日(月)の毎週月・木曜日	18:30～20:30	一般	婦人センター	各地区20人	1,000円
初心者英会話教室 鷲別地区	10月6日(月)～23日(木)の毎週月・木曜日 ※13日(月)を除く	18:30～20:30	一般	鷲別公民館	各地区20人	1,000円
初心者英会話教室 幌別地区	2月2日(月)～16日(月)の毎週月・木曜日	18:30～20:30	一般	市民会館	各地区20人	1,000円
和紙作り教室	8月1日(金)	10:00～12:00	親子	郷土資料館	15組	200円
ガラス工芸教室	8月27日(水)～29日(金)	18:30～20:30	一般	市民会館	20人	300円
和食料理教室	9月19日(金)	9:30～13:00	一般	市民会館	30人	200円
墨流し染め教室	9月24日(水)～26日(金)	18:30～20:30	一般	市民会館	20人	300円
初心者囲碁教室	9月6日(土)～11月29日(土) ※11月1日(土)を除く	13:00～15:00	小・中学生	富士会館	20人	200円
親子お菓子作り教室	2月8日(日)	10:00～12:00	親子	鷲別公民館	20組	200円
井上あずみファミリーコンサート	5月17日(土)	15:00～17:00	親子	市民会館	大人2,500円 中学生以下1,200円	
劇団えるむ公演「銀のしずく降る夜」	6月11日(水)	18:30	一般	市民会館		2,500円
道新ジュニアクラシック（札響コンサート）	7月1日(火)	13:30～14:30	鷲別小学校ほか	市民会館		
はまもと洋コンサート	9月18日(木)	18:30～20:00	一般	市民会館		未定
市民文化祭	9月～11月		一般	各地区		
親子文化祭	11月15日(土)	10:00～14:30	親子	市民会館		
文化講演会	未定	未定	一般	市民会館		未定
細坪基佳アコースティックコンサート	未定	未定	一般	市民会館		未定
富良野塾公演「地球、光りなさい」	未定	未定	一般	市民会館		未定
小中学生書初展	1月31日(土)・2月1日(日)	10:00～	小・中学生	市民会館		500円

※都合により、日程などを変更することがありますのでご了承ください。

スポーツ振興事業…事業費 1,976,000 円（うち市補助金1,286,000円）

事業名		期日	時間	対象	場所	募集定員	受講・参加料
初心者テニス教室		５月６日㈫～６月６日㈮の毎週火・金曜日	10:00～12:00	一般	岡志別の森運動公園	40人	2,000円
少年水泳教室		５月13日㈫～28日㈬の土・日・月曜日を除く毎日	16:00～17:00	小学1～3年生	市民プール	50人	1,000円
婦人水泳教室		６月３日㈫～24日㈫の毎週火・木・土曜日	13:30～15:30	一般	市民プール	30人	1,000円
パークゴルフ教室	Aコース	６月４日㈬・11日㈬	10:00～12:00	一般	岡志別の森運動公園	各教室20人	600円
	Bコース	６月13日㈮・20日㈮					
	Cコース	７月２日㈬・９日㈬	14:00～16:00				
アクアビクス教室		５月10日㈯～11月22日㈯（５・７・９・11月の毎週土曜日）	10:00～12:00	一般	市民プール	80人	1,000円
少年野球教室		小学生対象　７月20日㈰・９月27日㈯ 中学生対象　７月27日㈰・10月12日㈰	10:00～12:00	小・中学生	川上公園野球場	160人	無料
初心者スケート教室		１月24日㈯・25日㈰	9:00～11:30	小学生以上	青葉スケートリンク	40人	200円
初心者スキー教室		２月７日㈯・14日㈯・21日㈯	10:00～14:30	一般	カルルス温泉サンライバスキー場	20人	1,000円
初心者スノーボード教室		２月７日㈯・14日㈯・21日㈯	10:00～14:30	一般	カルルス温泉サンライバスキー場	20人	1,000円
市民パークゴルフ大会（春季）		６月１日㈰	7:00～	一般	岡志別の森運動公園	120人	500円
市民ゲートボール大会		７月23日㈬	8:30～	一般	市営陸上競技場	100人（参加予定数）	無料
市民グラウンドゴルフ大会		８月20日㈫	9:00～	一般	市営陸上競技場	100人（参加予定数）	無料
市民スポーツフェスティバル		９月21日㈰予定	9:00～	全市民	岡志別の森運動公園	600人（参加予定数）	無料
市民パークゴルフ大会（秋季）		９月21日㈰予定	9:00～	一般	岡志別の森運動公園	120人	600円
市民ソフトボール大会		９月21日㈰予定	9:00～	一般	岡志別の森運動公園	120人（参加予定数）	1チーム2,000円
市民ミニバレー大会		12月７日㈰	9:00～	一般	総合体育館	150人（参加予定数）	1,000円
軽スポーツ指導者派遣事業		随時	随時	小学生以上	随時	1回10人以上	無料
陸上競技講習会		６月下旬	14:00～16:30	一般	市営陸上競技場	50人	無料

※都合により、日程などを変更することがありますのでご了承ください。

市民会館の運営管理　3千269万2千円

知里幸恵（ちりゆきえ）生誕100年記念事業への補助　100万円

知里幸恵の生誕100年を記念して、市民団体が開催する記念フォーラム、幸恵の遺品の展示会などを支援します。

アイヌ文化普及啓発事業への補助　20万円

社団法人北海道ウタリ協会が開催する『アイヌ民族文化祭』を支援するため補助金を交付します。平成15年度の開催地は伊達市を予定。

第16回アイヌ民族文化祭への補助　30万円

文化振興への助成　120万円

『市民文化祭』や『文化大集会』などを開催している『登別市文化協会』の活動を支援します。平成14年度末の加盟団体数・会員数は、37団体・約2千500人。

児童生徒文化振興への助成　60万円

市内の小・中学校、高校に在籍する児童生徒が、全道・全国大会に出場する際に、保護者の負担を軽減するため経費の一部を助成します。

三市合同文化事業負担金　100万円

登別市・室蘭市・伊達市の3市合同で『ひまわり姫へ託す思い』や『谷川俊太郎＆賢作～詩とピアノの競演』を開催します。

文化財の保護　31万2千円

ふるさと登別の歴史や文化を後世に伝え、郷土に対する理解を深めるため、市民の貴重な財産である文化財を保存します。

・登別市文化財審議会の運営…学識経験者など6人で構成される同審議会を開催し、文化財の保存や活用について、専門的な立場から調査・審議します。

▲登別市指定文化財
黒澤家史料『知行目録』

郷土資料館・文化伝承館の運営
859万５千円

※運営経費のうち人件費579万４千円。

郷土資料館の収蔵品などを管理・展示するほか、さまざまな体験学習などを行います。

平成15年度郷土資料館・文化伝承館事業

開催月日	行　事　名	内　容
４月12日(土)	包丁とぎ体験	砥石で包丁をとぐ
４月26日(土)	親子こいのぼりづくり体験	親子でミニこいのぼりを作る
５月10日(土)	資料館の日『温泉への道』	温泉までの交通機関の歴史
５月24日(土)	わんぱくサムライ体験『武士の世界と和の心』	流鏑馬（やぶさめ）・チャンバラ・茶道体験など
６月14日(土)	資料館の日『知里幸恵の作品と生き方』	幸恵さんの作品と生き方
６月28日(土)	親子そば打ち体験	親子によるそば打ちと試食
７月12日(土)	笹舟あそびとソーメン流し体験	池で笹舟を楽しむ。ソーメンの試食
７月30日(水)	夏休み工作教室	本立てと木製パズルを作る
７月31日(木)	夏休み工作教室	折り染め工作とメリーゴーランドを作る
８月23日(土)	絞り染め体験	白布を糸などで絞り、藍色に染める
９月13日(土)	資料館の日『片倉家の移住』	登別市の開拓時代のようす
10月11日(土)	資料館の日『幌別鉱山』	幌別鉱山の栄えたころのようす
10月25日(土)	ふくろう壁掛けづくり体験	木の枝や皮を使って壁掛けをつくる
11月８日(土)	はた織り体験	小さなはた織り機を使って毛糸を織る
12月６日(土)	包丁とぎ体験	砥石で包丁をとぐ
12月13日(土)	しめ飾りづくり体験	すげを使ってしめ飾りを作る
１月８日(木)	冬休み工作教室	凧・わらを使った宝船づくり
１月９日(金)	冬休み工作教室	本立て・竹細工
１月24日(土)	資料館の日『昭和初期の食べ物』	雑穀を主食とした時代の体験
２月14日(土)	親子ひな人形づくり体験	和紙などでひな人形を作る
２月28日(土)	資料館の日『登別化石林』	化石林の生成と発見
３月13日(土)	和菓子づくり体験	みじん粉でらくがんを作る

※都合により、内容などを変更する場合があります。

生涯スポーツと競技スポーツの振興

スポーツ合宿の支援　15万7千円

ＵＦＪ銀行女子陸上競技部の合宿を誘致・支援し、同部の監督や選手を講師に招いたスポーツ教室などを開催します。

三市スポーツ大会の開催　39万3千円

登別市・室蘭市・伊達市の三市の子どもたちがスポーツを通し、交流を深めます。夏季と冬季の年2回開催し、夏季は室蘭市入江陸上競技場を会場に陸上競技を、冬季は登別市ネイチャーセンター『ふぉれすと鉱山』を会場に歩くスキーを行います。

胆振管内スポーツフェスタの参加16万1千円

胆振管内スポーツフェスタ参加への助成　10万円

胆振管内スポーツフェスタ（開催地は夏季・伊達市、冬季・登別市）に市民による選手団を派遣します。

また、選手団の参加経費の一部を助成します。

登別市体育協会への助成　120万円

登別市スポーツ少年団育成のための助成　50万円

児童生徒スポーツ振興のための助成　300万円

市内の小・中学校、高校に在籍する児童生徒や市内のスポーツ団体が、全国大会・全道大会に参加する際に、参加者の負担を軽減するため、経費の一部を助成します。

スポーツ施設の整備充実

学校開放事業　407万9千円

市内に居住または通勤している方を含む10人以上のグループに、学校の体育施設を開放し、スポーツ活動の場を提供します。

・屋内体育館の開放…平成15年5月中旬から平成16年2月末まで、登別温泉中学校や登別中学校、登別小学校、幌別東小学校、幌別小学校、幌別西小学校、青葉小学校、富岸小学校、鷲別小学校の体育館を開放します。

・学校プールの開放…学校の夏休み期間中、若草小学校と鷲別小学校のプールを開放します。

▼問い合わせ　社会教育課（☎㊽1129）

総合体育館の運営管理　1千546万4千円

陸上競技場の運営管理　135万5千円

陸上競技場の整備　895万7千円

岡志別の森運動公園の運営管理　2千69万1千円

市民プールの運営管理　1千548万1千円

新市民プール建設事業　12億7千938万9千円（うち道1億円）

※約9億6千万円の市債を借り入れて実施。この市債にかかる元利償還金の約50㌫が後年度、普通交付税で国から市に交付されます。

現在の市民プールは、昭和50年2月から利用され28年が経過し、老朽化が著しいことから、新たに市民プールを建設します。

- **建設地**　幸町1丁目5
- **敷地**　8千平方㍍
- **延床面積**　3千450平方㍍
- **構造**　鉄筋コンクリート造一部木造
- **施設計画**　公認プール（25㍍×7コース）、多目的プール、流水プール、リラクゼーションプール、トレーニングルームなど

市営水泳プールの運営管理　389万3千円

▼問い合わせ　文化・スポーツ振興財団（☎㊽1116）

◀▲新市民プール完成予想図

生涯学習を支える図書館機能を高める

市立図書館の運営管理　5千892万5千円

※運営管理経費のうち人件費4千433万9千円。

図書資料の整備をはじめ、『文化講演会』や『小中学生読書感想文コンクール』、『幼稚園児読書感想画募集』、『移動図書館こぐま号の運行』などを行います。

◀移動図書館こぐま号

図書の購入　858万円

新着図書5千50冊を購入します。

新図書館建設基金への積立　1千万円

新図書館建設に向けて、毎年一定額を新図書館建設基金として積み立てします。

これにより基金の積立総額は、1億3千283万2千円（平成15年度末見込み）となります。

第6章

担いあうまちづくり

市民参画・地域活動・
地域交流・国際交流

- 多彩な地域活動を支援
- 交流ネットワークの形成

多彩な地域活動を支援

いきいき推進事業への補助　100万円

個性豊かなまちづくり活動やふれあい豊かな交流推進事業など、市民団体が自主的・主体的に取り組むまちづくり活動を支援します。

補助金は、対象事業費の2分の1までで、30万円を限度とします。

▼問い合わせ　企画課（☎㉟1122）

商業活性化イベント事業への補助　80万円

商店会または商店会が中心となって組織された団体が、商業の振興や地域経済の活性化のため、地域住民と共同で行うイベントに対し、補助金を交付します。幌別地区は『のぼりべつ豊水まつり』、鷲別地区は『鷲別手づくり夏祭り』、若草・新生地区は『グリーンピア・サマーフェスティバル』、登別地区は『わくわく広場のぼりべつ』に補助金を交付します。

▲のぼりべつ豊水まつり

▲わくわく広場のぼりべつ『サーカス工房大作戦』

登別農業まつり運営への補助　20万円

平成15年度は千歳町の市民プール横広場を会場に、9月7日㈰の開催を予定しています。

登別漁港まつり運営への補助　40万円

平成15年度は、9月13日(土)・14日(日)の開催を予定しています。

登別市連合町内会への助成　240万円

市内の町内会で組織される各地区の連合町内会の活動を支援します。

市内の連合町内会は、登別温泉地区、登別地区、鉄南地区、札内・来馬地区、中央地区、幌別西地区、青葉地区、富岸地区、新生地区、鷲別地区、美園・若草地区の11連合町内会。

▼問い合わせ　市民課（☎㉟1855）

町内会運営への助成　3千187万円

地域の発展を目的に活動する町内会の運営を支援します。助成金は、団体割や世帯割、会館割、街路灯割で交付され、地域の美化清掃をはじめ、敬老会や祭典、新年会、街路灯や会館の維持管理などに利用されています。

市内の町内会数は、99町内会。

▼問い合わせ　市民課（☎㉟1855）

登別市民憲章推進協議会への助成　35万円

団体や個人などを対象とした『花壇コンクール』の開催や『まちづくり市民のつどい』での講演会、『市民憲章だより』を発行している『登別市民憲章推進協議会』の活動を支援するため、助成金を交付します。

交流ネットワークの形成

東京登別げんきかいの支援　100万8千円

首都圏在住の登別市出身者やゆかりのある方で構成される『東京登別げんきかい』の活動を支援します。平成14年10月末現在の会員数は529人。

札幌のぼりべつ会の支援　4万8千円

札幌圏在住の登別市出身者やゆかりのある方たちで構成される『札幌のぼりべつ会』の活動を支援します。平成

14年8月末現在の会員数は122人。

登別市ふるさと大使の委嘱　8万円

登別市にゆかりのある方を『登別市ふるさと大使』（通称…鬼大使）に委嘱し、さまざまな機会に登別市を宣伝してもらうとともに、まちづくり情報などを提供してもらいます。

登別・白石姉妹都市交流推進協議会への助成　30万円

姉妹都市である宮城県白石市との産業や経済、文化、スポーツ、福祉などを通して友好・親善を深めるため、同協議会へ助成金を交付します。

登別・白石姉妹都市提携20周年記念事業への補助　50万円

登別市と白石市との姉妹都市提携20周年を記念して事業を行う実行委員会に対し、補助金を交付します。

姉妹都市の小・中学校との交流　83万円

登別市と白石市の小・中学生が、学校間交流を行い、互いのまちの歴史を学び、交流を深めます。

また、交流を推進する『姉妹都市小中学校交流事業実行委員会』へ補助金を交付し、活動を支援します。

姉妹都市スポーツ交流事業への助成　98万5千円

姉妹都市である白石市と少年軟式野球大会や水泳大会を通して交流を深めるため、『登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流団』と『姉妹都市国際親善水泳大会参加交流団』へ助成金を交付します。

中学生海外派遣の実施　376万3千円

登別市の次代を担う青少年が、諸外国の生活や異なる文化に接することにより、国際理解を深め、国際社会に対応できる豊かな人間性を身につけることを目的に、市内の中学校2年生をデンマークに派遣し（11日間）、ホームステイなどを体験させます。平成4年度に始まった同事業は本年度で12回目を迎え、これまでに75人の中学生を派遣しました。

国際交流の推進　54万2千円

登別市の国際交流を推進するため、講演会やデンマークからの研修生受け入れの支援などを行います。

・**国際交流の推進に関する事業**…市内の国際交流関係団体などと連携して、『国際理解セミナー』や『外国人留学生との交流』などを行い、国際交流の推進を図ります。

・**デンマーク研修生との交流**…6月から約2カ月、登別デンマーク協会が受け入れるデンマークからの研修生と市民との交流の機会をつくり、国際交流の推進を図ります。

自治体職員協力交流事業　372万9千円

海外の地方自治体などの職員を『協力交流研修員』として受け入れ、日本の自治体のノウハウや技術を習得してもらうとともに、市内で開催される国際交流事業に同研修員を参加させ、市民との交流を通して、地域の国際化を図ります。平成15年度は6月から11月下旬までを予定しています。

▼問い合わせ　総務課国際交流室（☎㊽1130）

平成 15 年度市の仕事

まちづくりカタログ

平成 15 年 6 月発行
発行・編集　登別市総務部情報推進課（広報広聴）